

**電子経済産業省アイデアボックス  
アンケート結果**

**2009年12月**

## 目次

( 1 )	アンケート方法.....	3
( 2 )	単純集計結果.....	3
1 )	サイトの利用の経緯、利用状況.....	3
2 )	今回の取り組みへの評価、今後の推進に向けた意見.....	6
3 )	回答者の属性.....	12
( 3 )	クロス集計結果.....	15
1 )	普段のインターネットの利用状況別結果.....	15
2 )	アイデアボックスの利用状況別結果.....	22

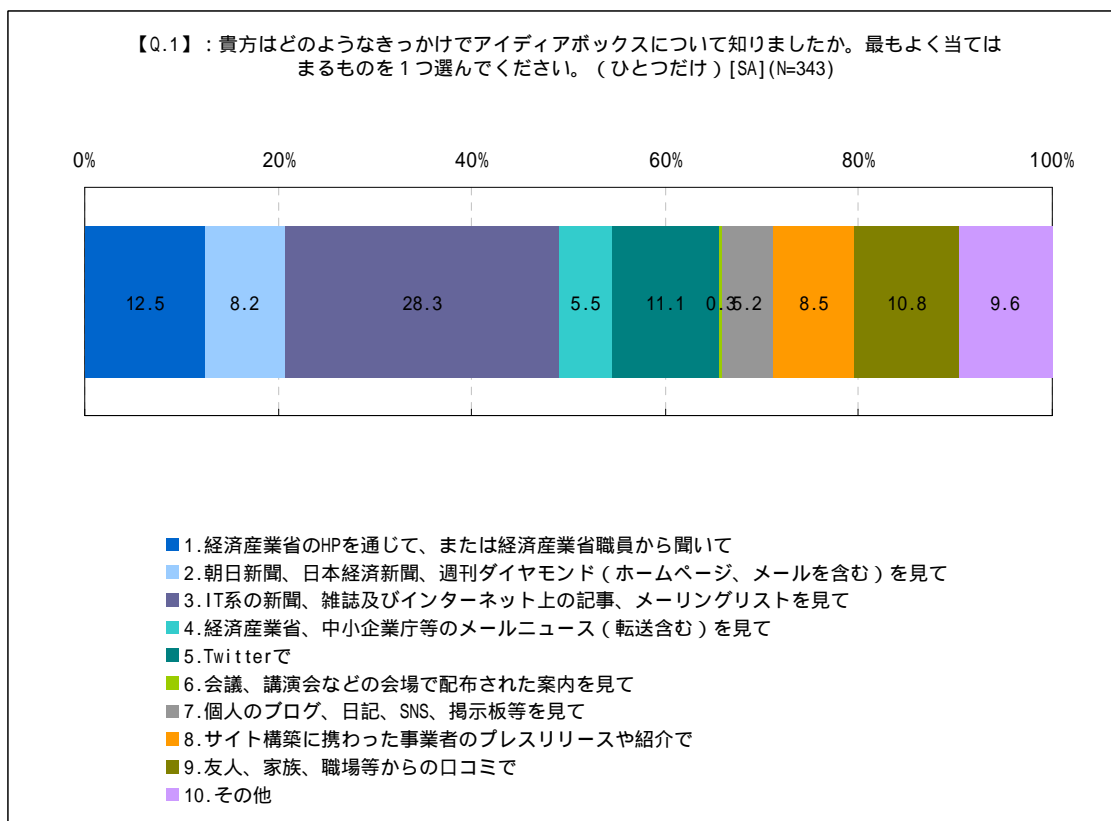
(1) アンケート方法

- ・ 調査名 アイディアボックス登録ユーザーアンケート
- ・ 調査期間 平成 21 年 11 月 19 日～平成 21 年 11 月 26 日
- ・ 調査方法 インターネットアンケート  
登録ユーザー全員に登録メールアドレス宛にアンケートを送付した。  
また、アイディアボックスサイト上でも回答可能とした。
- ・ 有効回答数 343 人

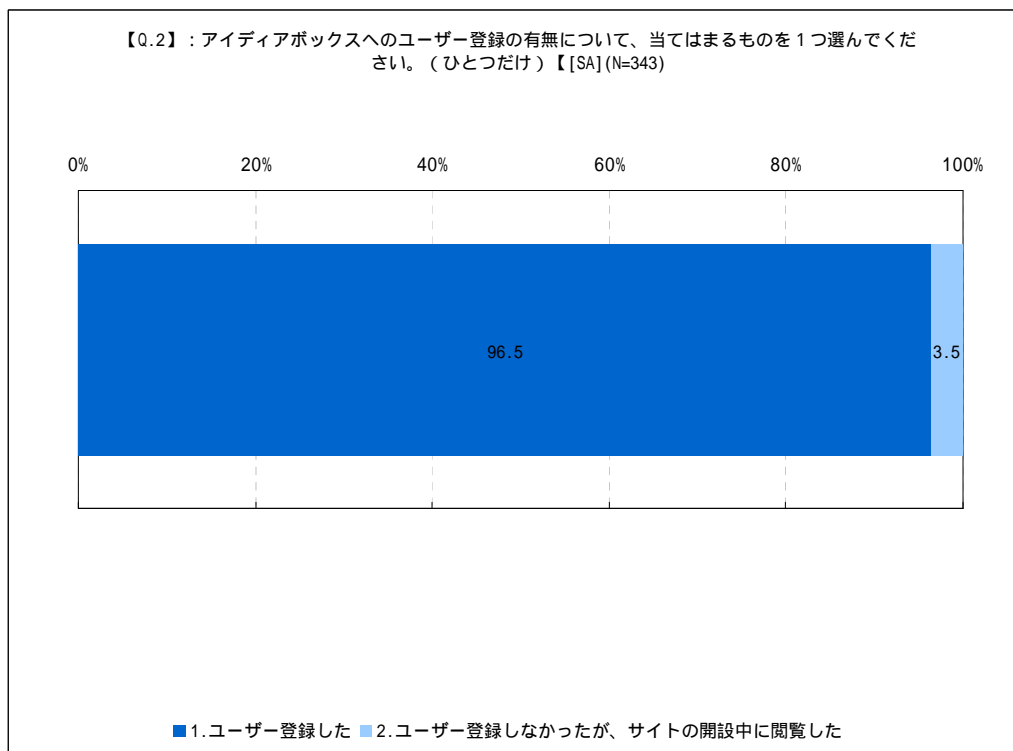
(2) 単純集計結果

1) サイトの利用の経緯、利用状況

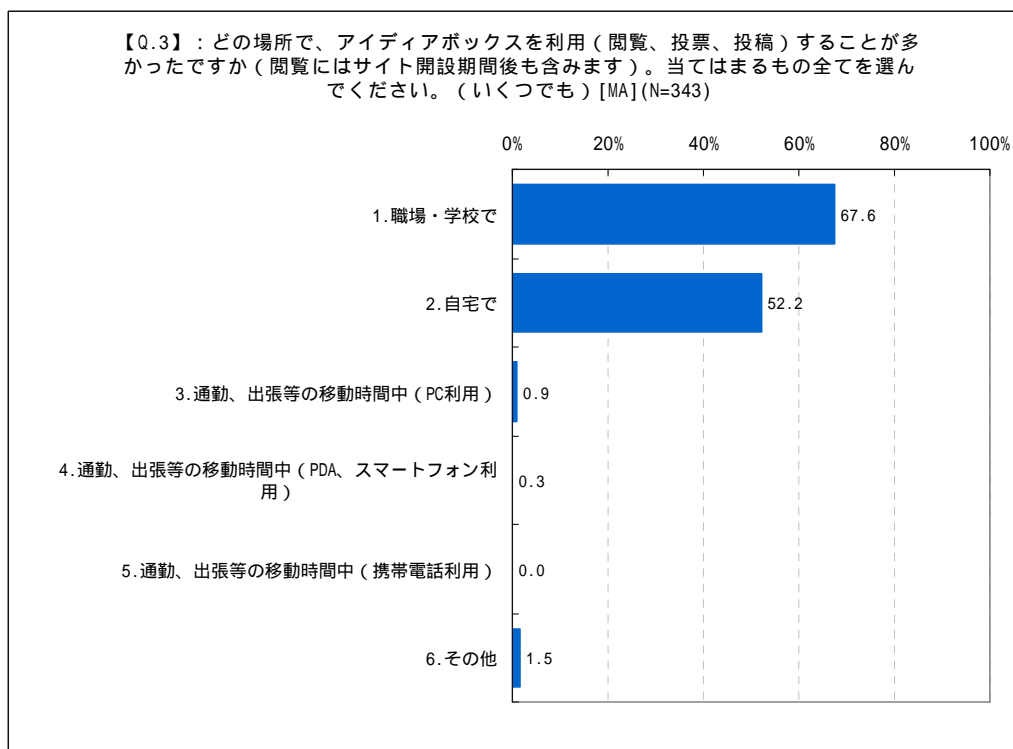
- ・ アイディアボックスについて知ったきっかけは、「3.IT系の新聞、雑誌及びインターネット上の記事、メーリングリストを見て」(28.2%)、「1.経済産業省のHPを通じて、または経済産業省職員から聞いて」(12.5%)、「5.Twitterで」(11.1%)となっている。



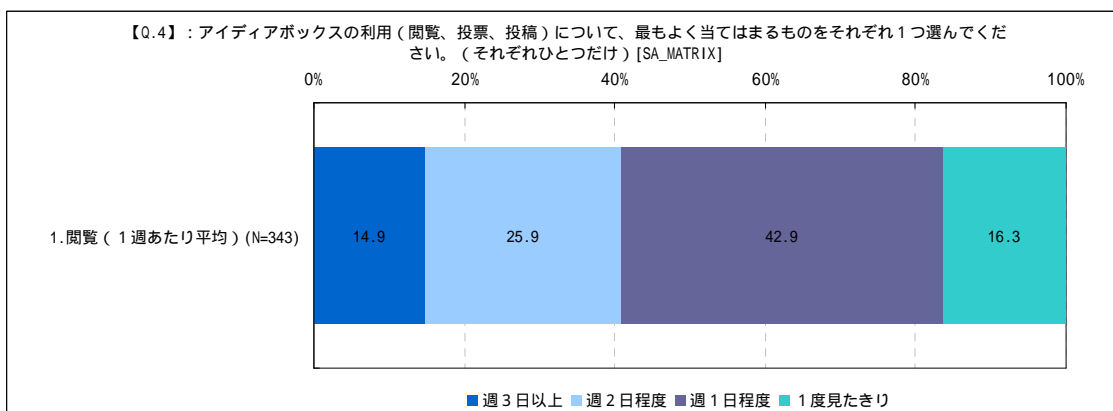
- 回答者のうち、「1.ユーザー登録した」人は96.5%となっている。



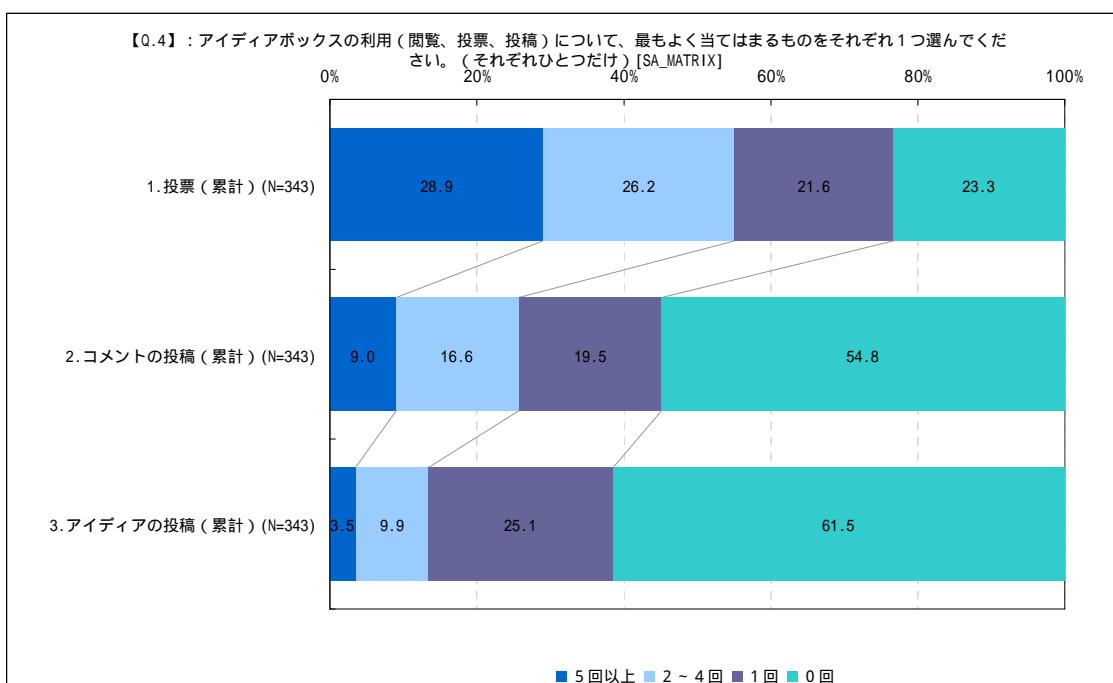
- 利用場所は、「1.職場・学校で」(67.6%)、「2.自宅で」(52.2%)となっている。



- ・ 閲覧した頻度は、「週1日程度」(42.9%)、「週2日程度」(25.9%)、「1度見たきり」(16.3%)となっている。

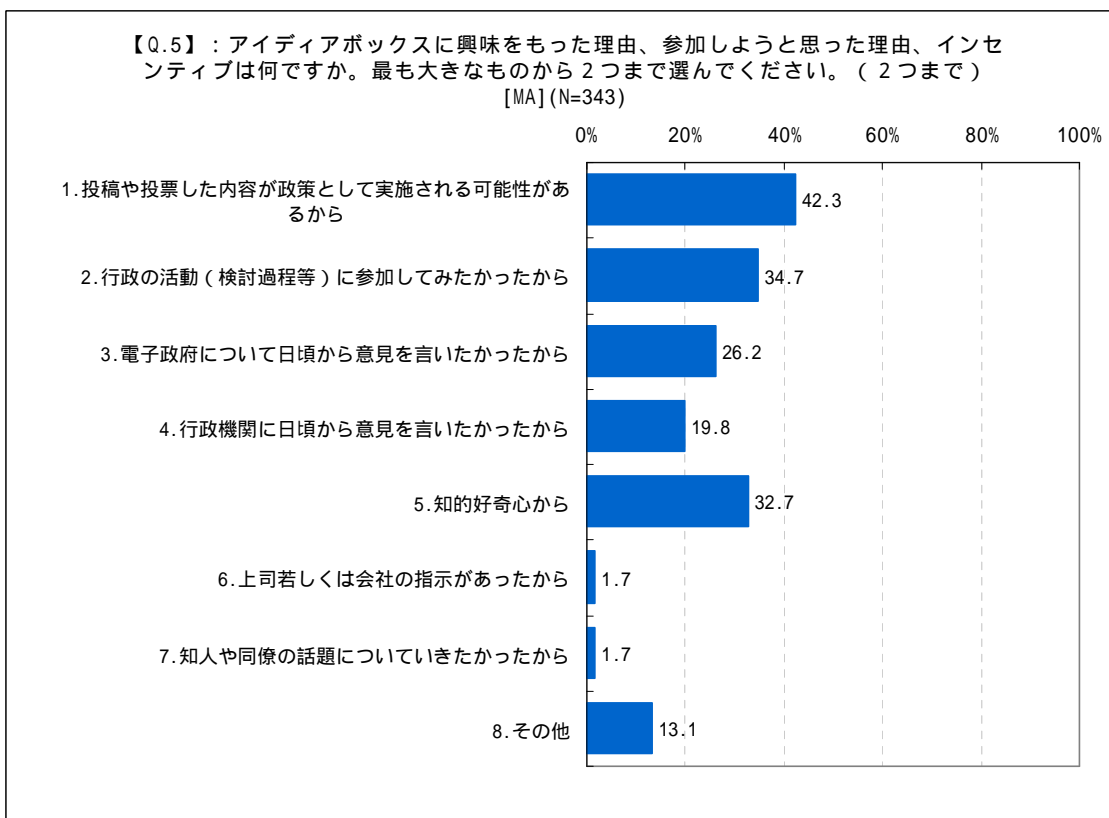


- ・ 投票、コメントの投稿、アイデアの投稿の頻度は次のようになっている。

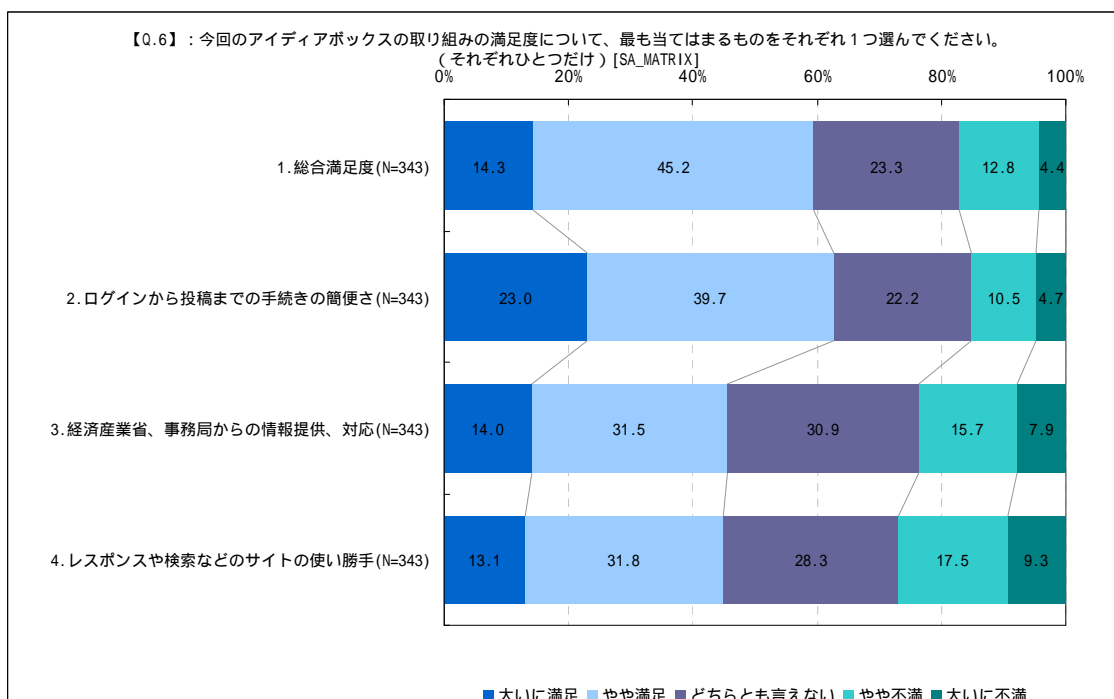


2) 今回の取り組みへの評価、今後の推進に向けた意見

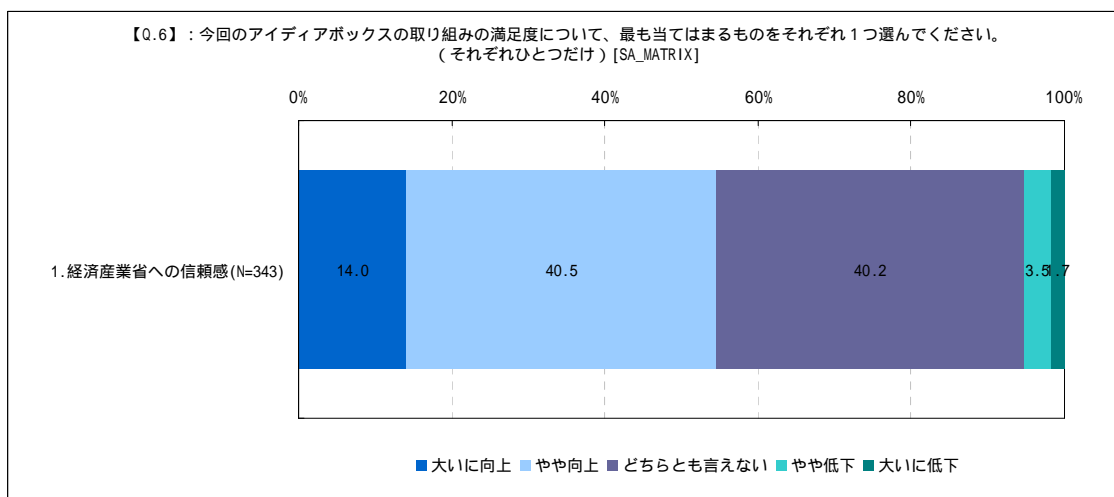
- アイディアボックスに興味をもった理由、インセンティブとしては、「1.投稿や投票した内容が政策として実施される可能性があるから」(42.3%)、「2.行政の活動(検討過程等)に参加してみたかったから」(34.7%)、「5.知的好奇心から」(32.7%)となっている。



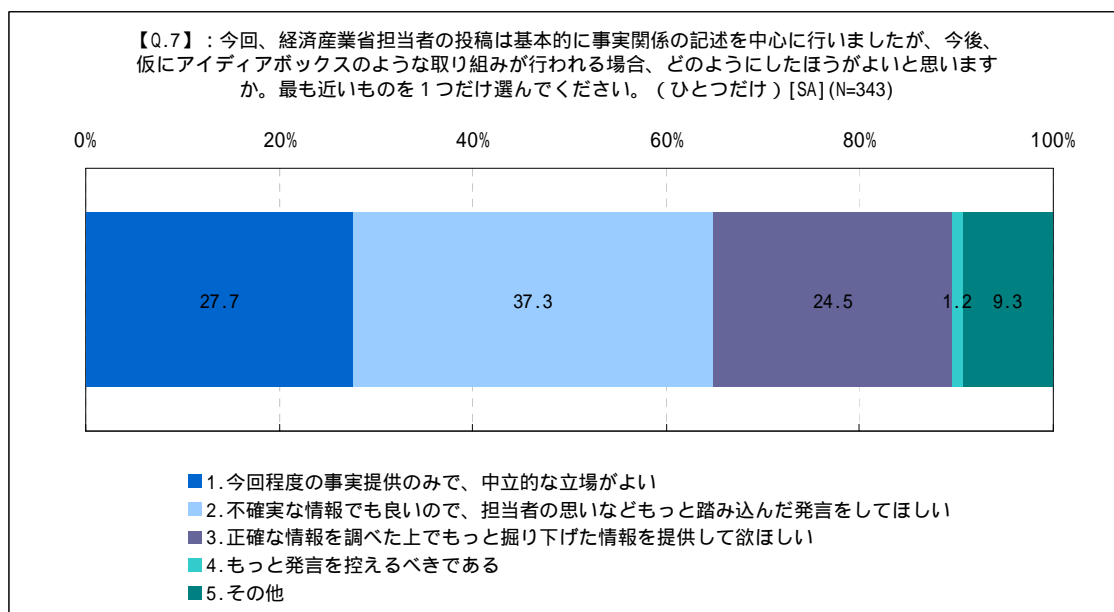
- 総合的な満足度は、「大いに満足」、「やや満足」を合わせて 59.5%、「大いに不満」、「やや不満」を合わせて 17.2%であった。
- 経済産業省、事務局からの情報提供、対応については、「大いに満足」、「やや満足」を合わせて 45.5%、「大いに不満」、「やや不満」を合わせて 23.6%であった。
- レスポンスや検索などのサイトの使い勝手については、「大いに満足」、「やや満足」を合わせて 44.9%、「大いに不満」、「やや不満」を合わせて 26.8%であった。



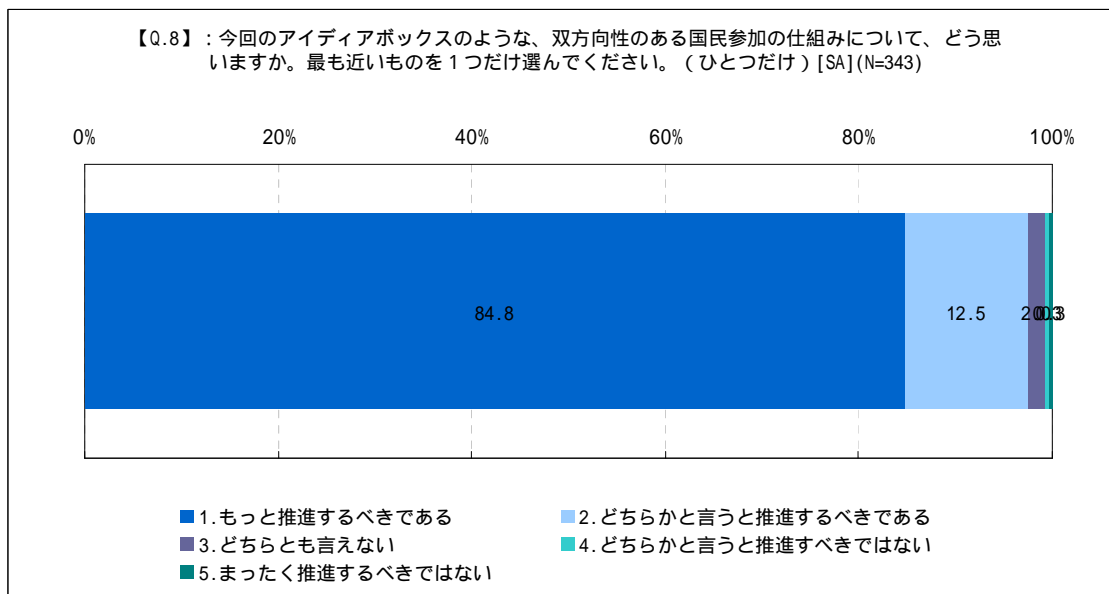
- 経済産業省への信頼感については、「大いに向上」、「やや向上」が合わせて54.5%、どちらも言えないが40.2%、「大いに低下」、「やや低下」が合わせて5.2%であった。



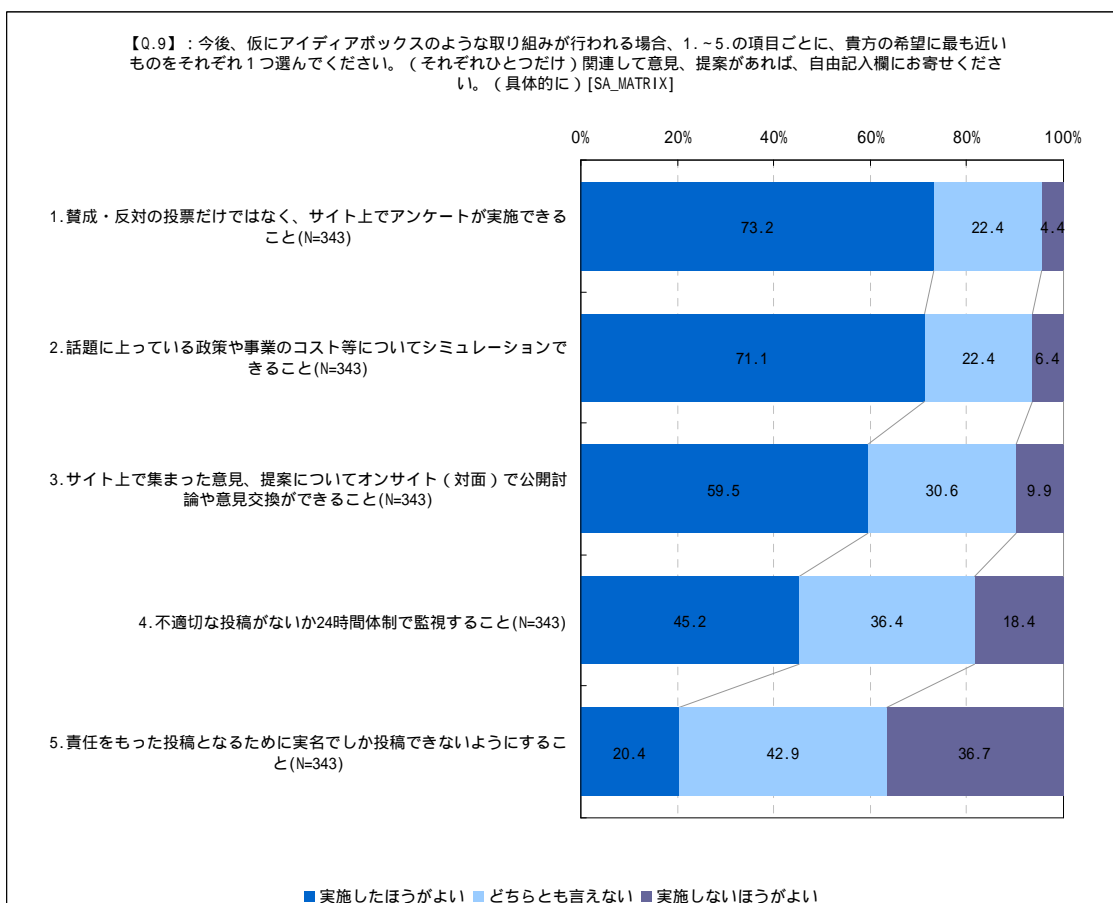
- 経済産業省担当者の投稿についての意見としては、「2.不確実な情報でも良いので、担当者の思いなどもっと踏み込んだ発言をしてほしい」(37.3%)、「1.今回程度の実事提供のみで、中立的な立場がよい」(27.7%)、「3.正確な情報を調べた上でもっと掘り下げた情報を提供して欲しい」(24.5%)となっている。



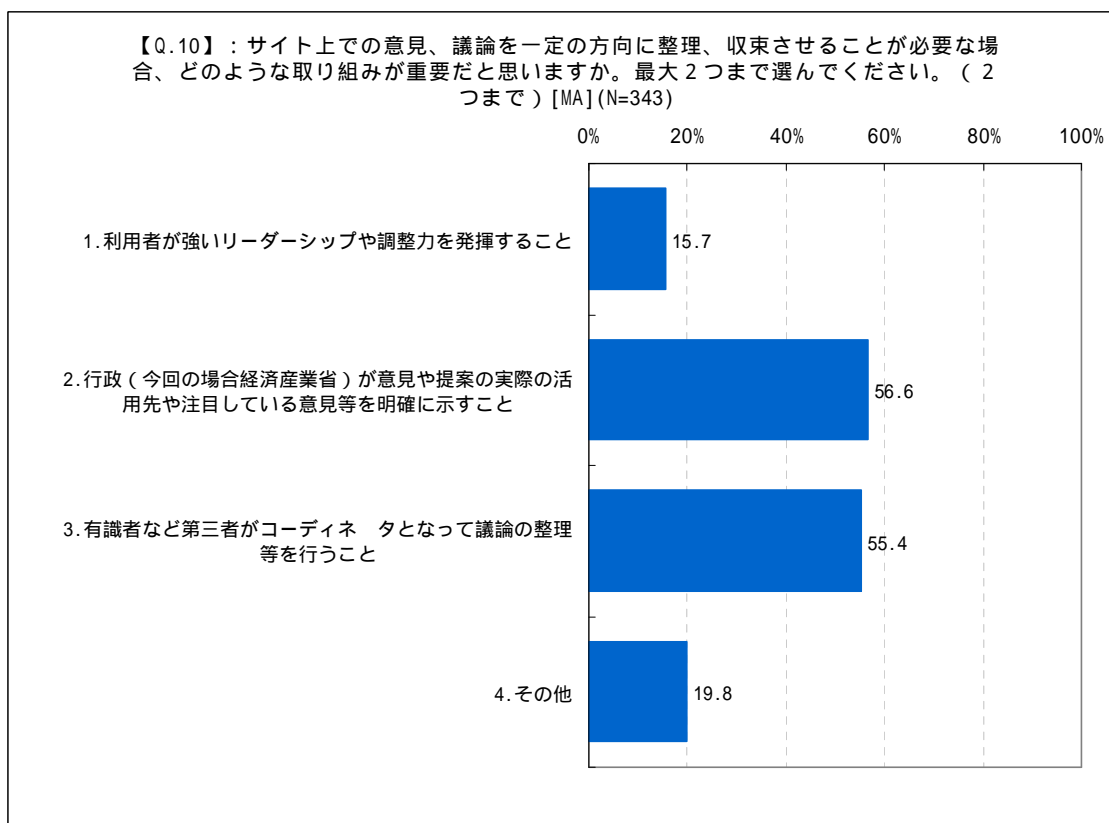
- アイディアボックスのような双方向性のある国民参加の仕組みについての意見は、「1.もっと推進すべきである」(84.8%)、「2.どちらかと言うと推進すべきである」(12.5%)となっている。



- ・ 今後求める機能や取り組みについて、実施したほうがよいとの回答は、「サイト上でアンケートが実施できること」(73.2%)「政策や事業のコスト等についてシミュレーションできること」(71.1%)などが多かった。
- ・ 「責任をもった投稿となるために実名でしか投稿できないようにすること」については、実施したほうがよい(20.4%)、どちらとも言えない(42.9%)、実施しないほうがよい(36.7%)と、意見が大きく分かれている。

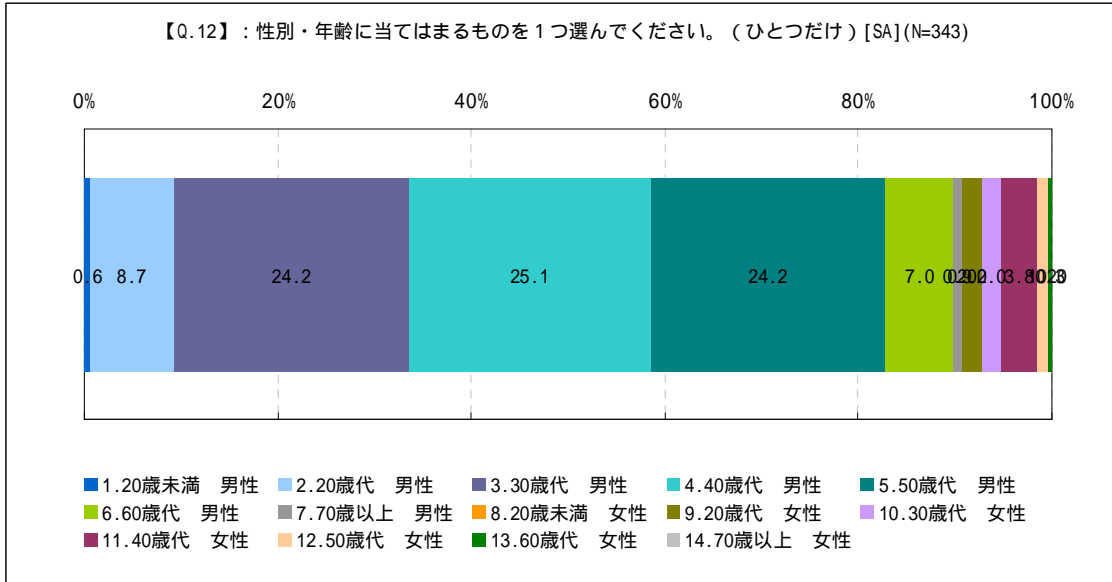


- サイト上で意見・議論を一定の方向に整理・収束させることが必要な場合の取り組みについては、「2.行政（今回の場合経済産業省）が意見や提案の実際の活用先や注目している意見等を明確に示すこと」（56.6%）、「3.有識者など第三者がコーディネータとなって議論の整理等を行うこと」（55.4%）との回答が多い。

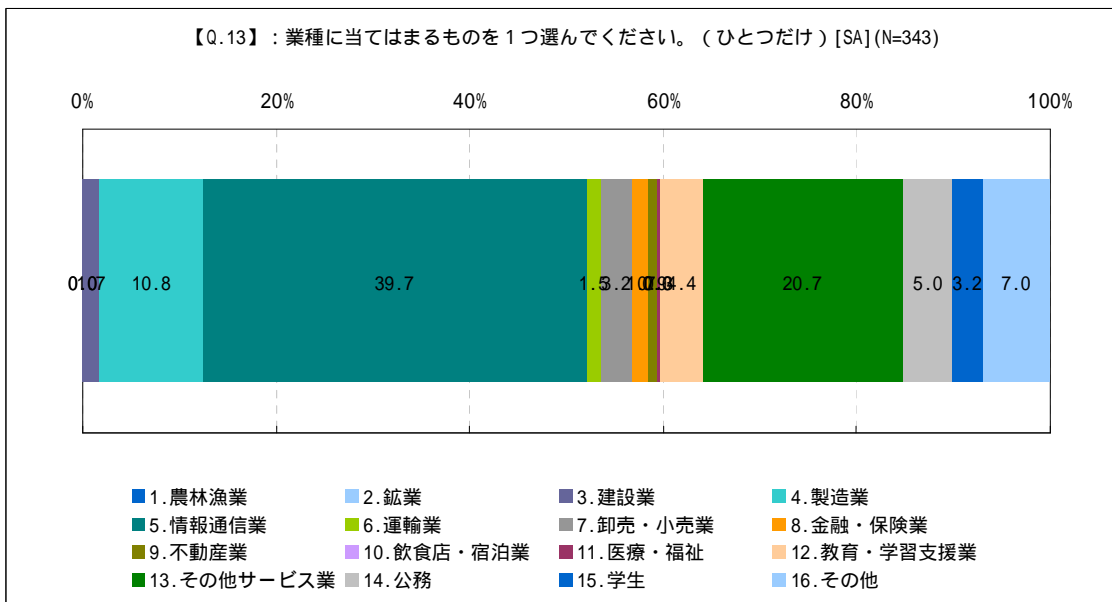


### 3) 回答者の属性

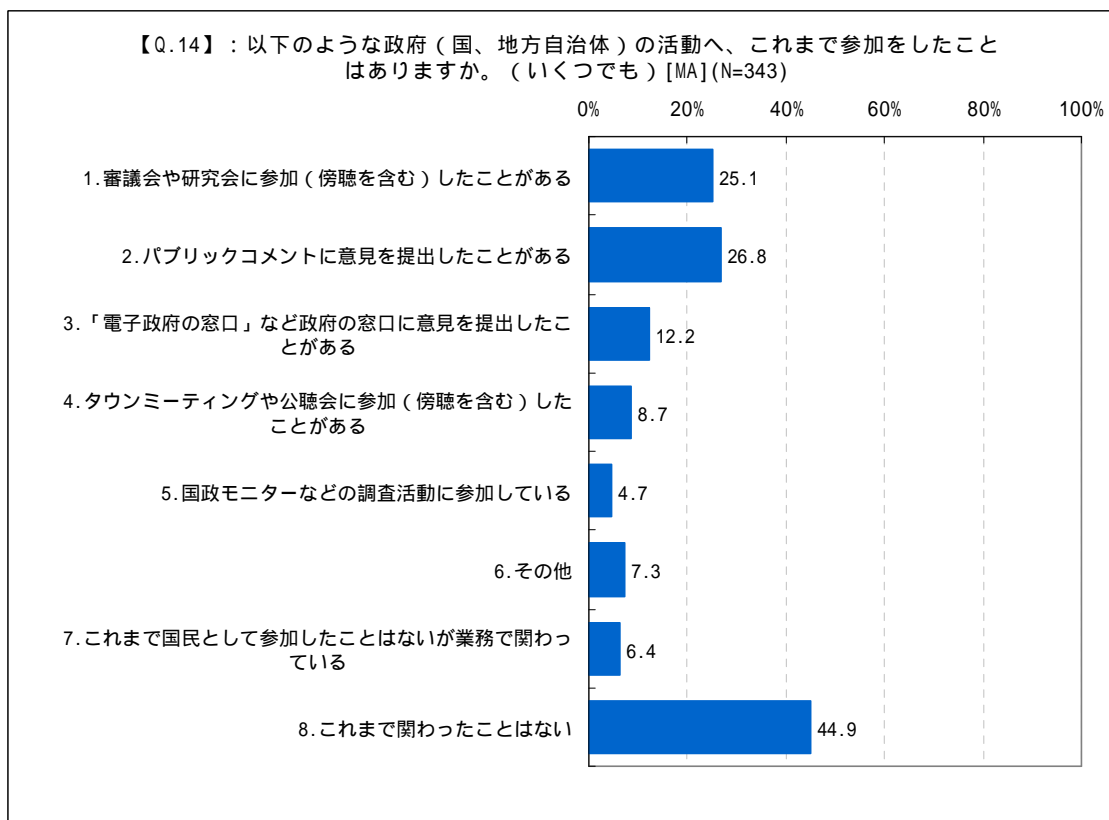
- 性別・年齢は次のような構成となっている。



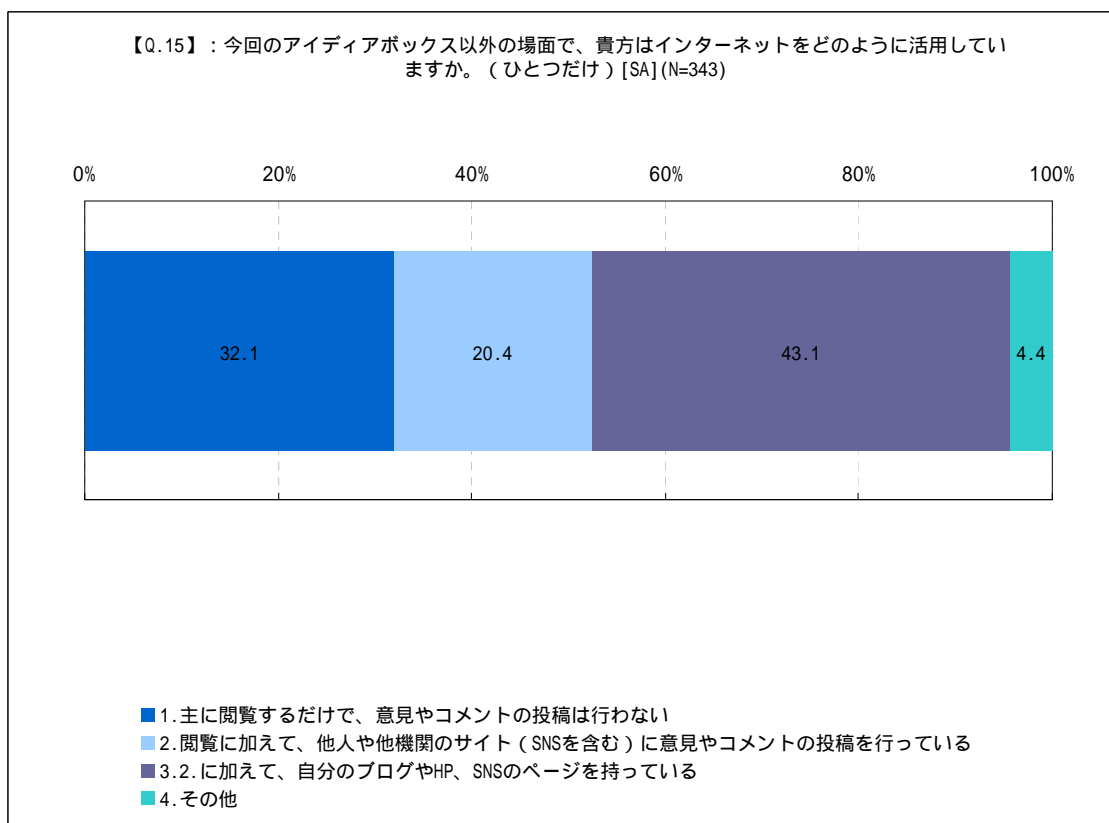
- 職業は「5.情報通信業」(39.7%)、「13.その他サービス業」(20.7%)、「4.製造業」(10.8%)が多い。



- 政府（国、地方自治体）への参加については、「8.これまで関わったことはない」（44.9%）、「2.パブリックコメントに意見を提出したことがある」（26.8%）、「1.審議会や研究会に参加（傍聴を含む）したことがある」（25.1%）となっている。



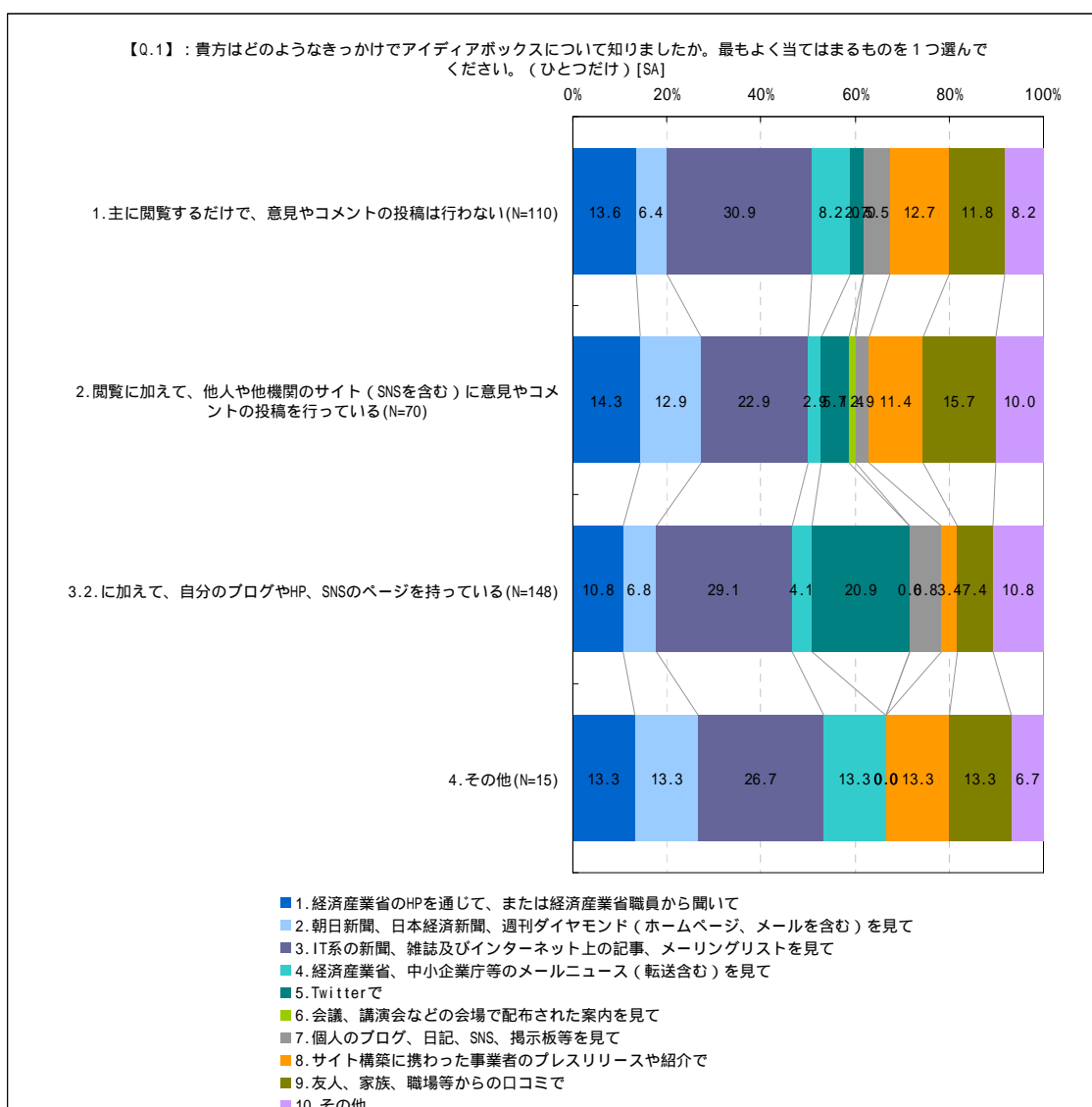
- 普段のインターネットの利用については「3. 2.に加えて、自分のブログやHP、SNS のページを持っている」(43.1%)、「1.主に閲覧するだけで、意見やコメントの投稿は行わない」(32.1%)、「2.閲覧に加えて、他人や他機関のサイト（SNS を含む）に意見やコメントの投稿を行っている」(20.4%)となっている。



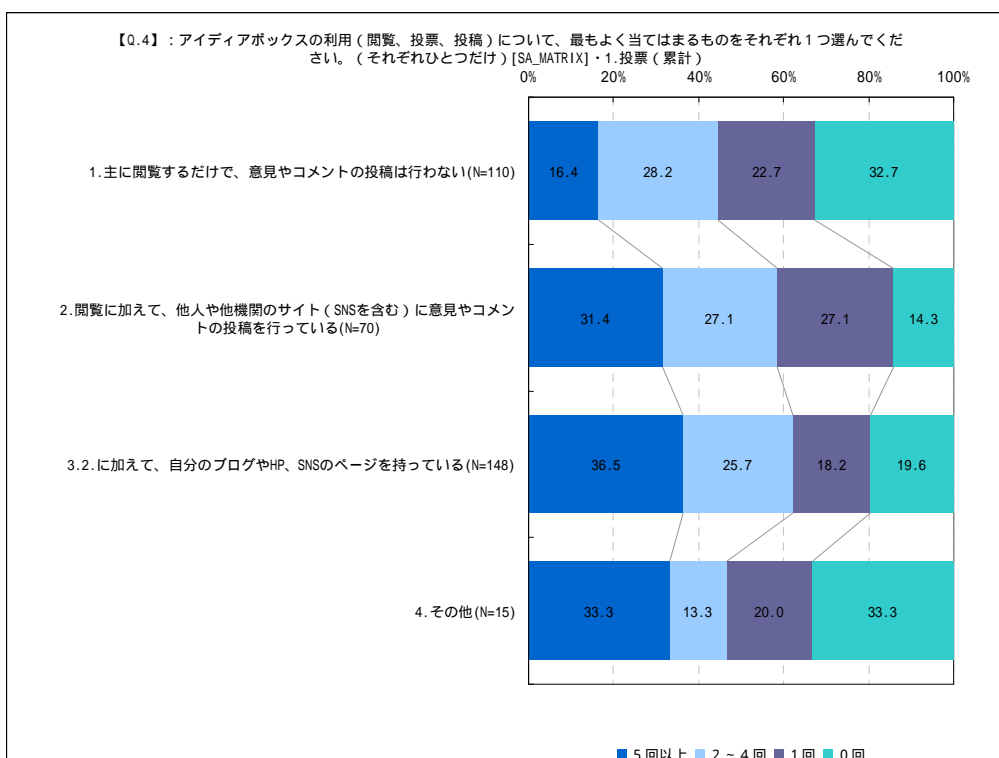
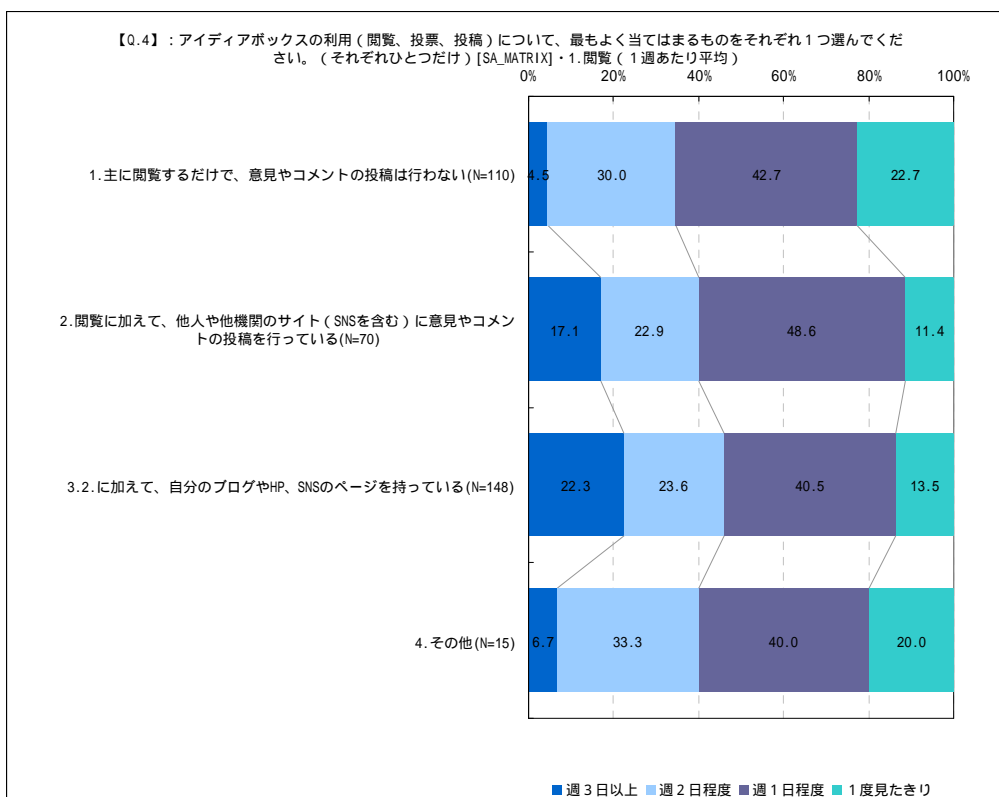
### (3) クロス集計結果

#### 1) 普段のインターネットの利用状況別結果

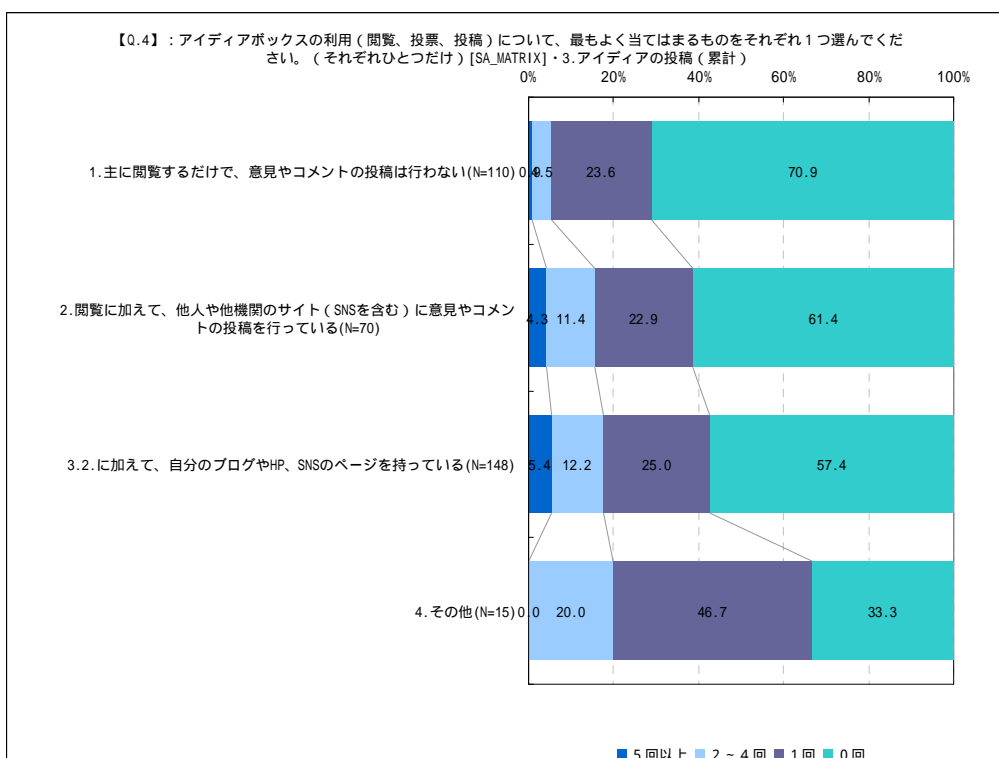
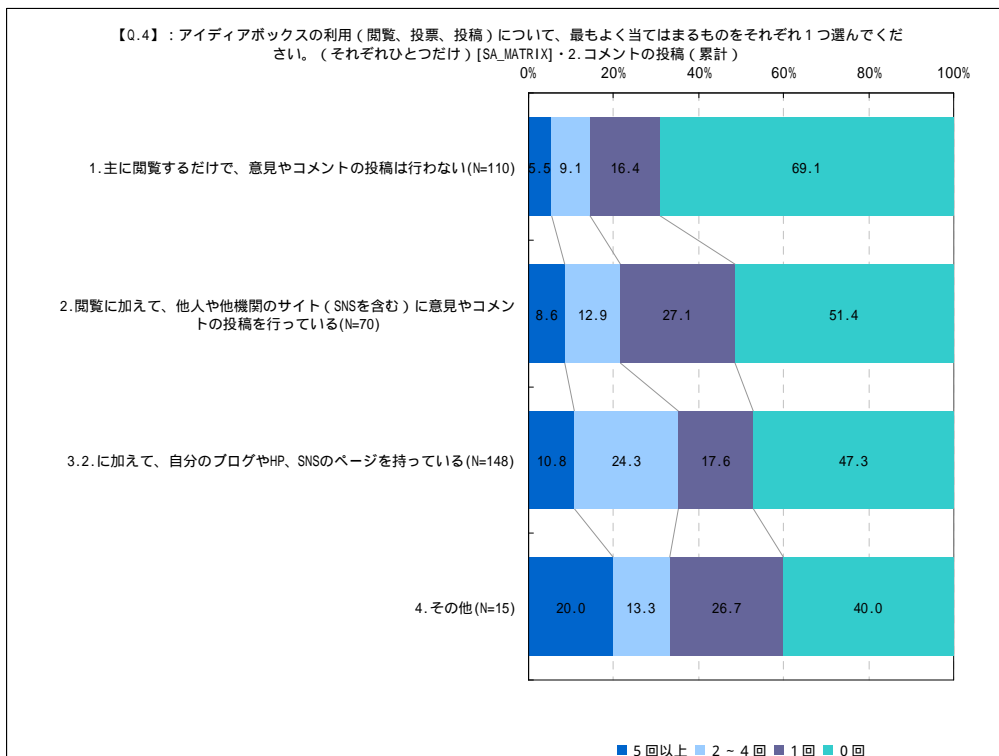
- 以下は「【Q.15】: 今回のアイデアボックス以外の場面で、貴方はインターネットをどのように活用していますか。」への回答別にクロス集計をしている。
- 「4.その他」はサンプル数が少ない(N=15)ため、参考数値。
- アイデアボックスを知ったきっかけとして、自分のブログやHP等を持っている人はTwitterとの回答が比較的多い。



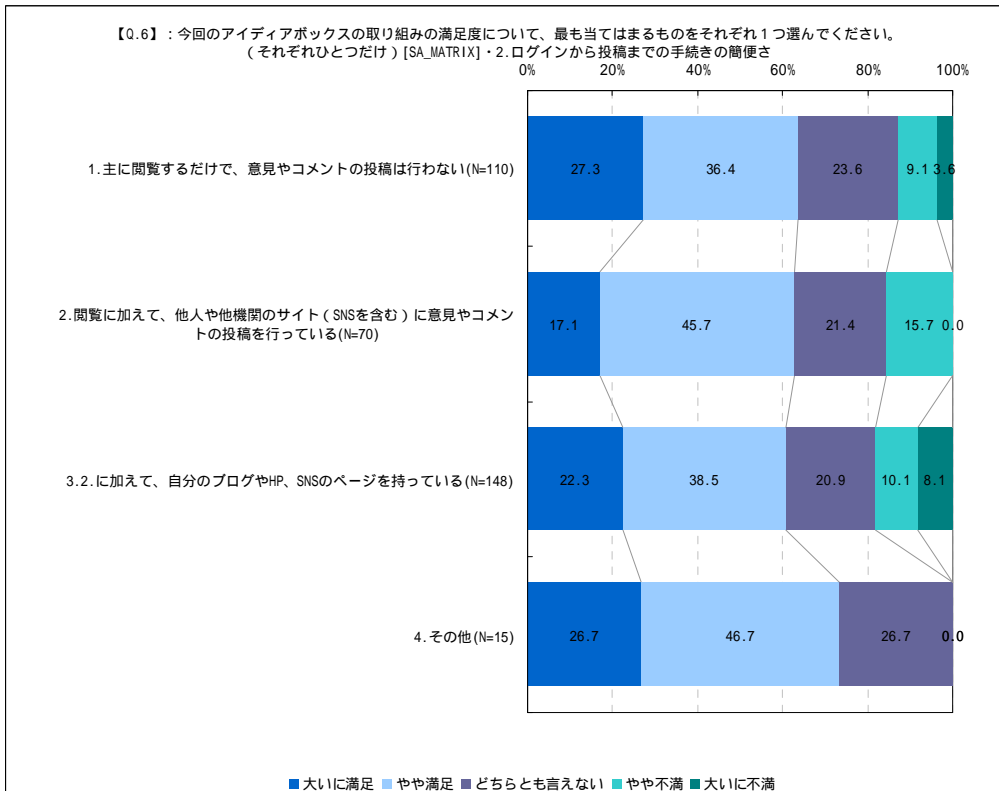
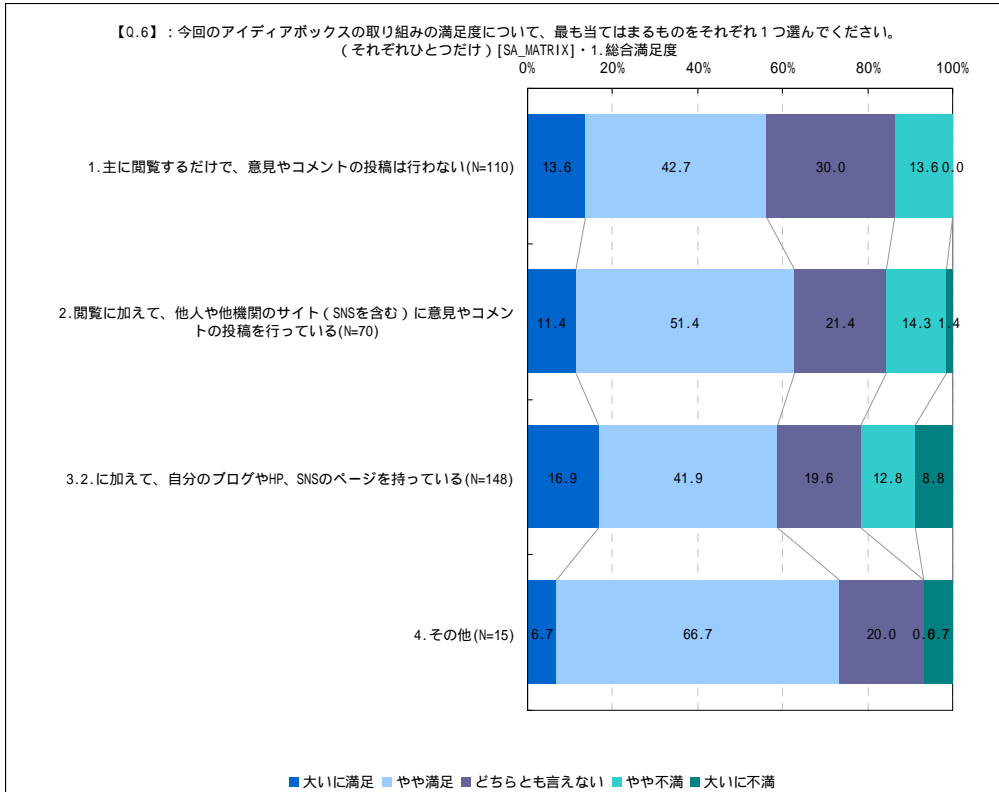
- アイディアボックスへの閲覧頻度は、概して、自分のブログや HP 等を持っている人のほうが多い。

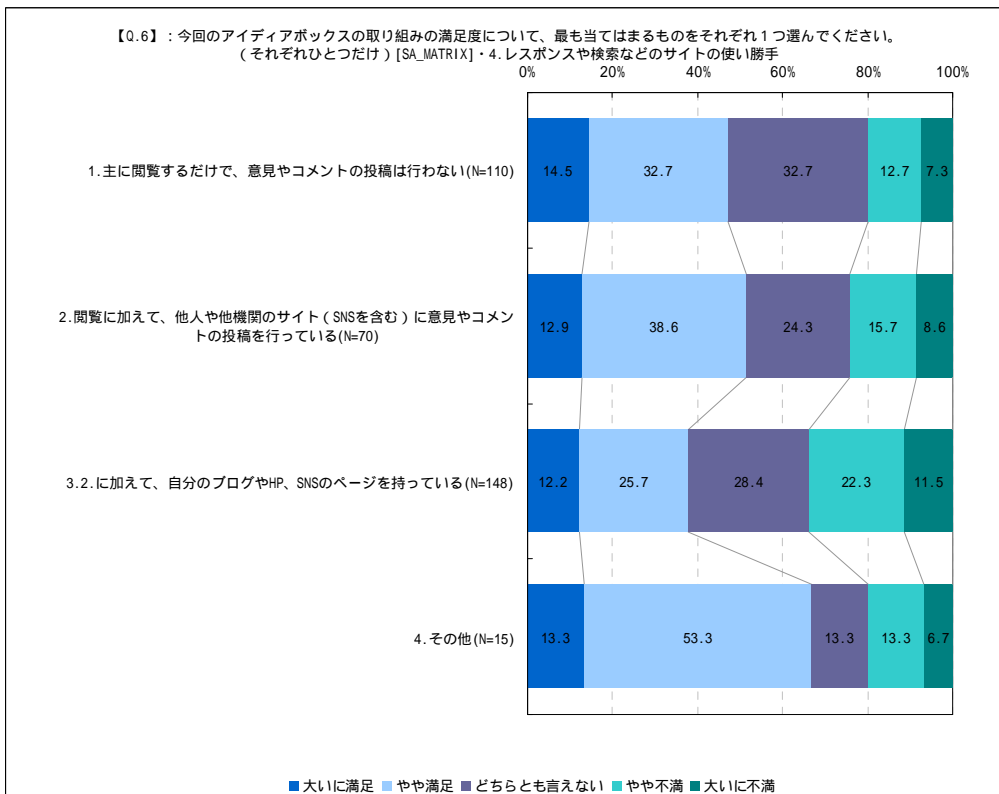
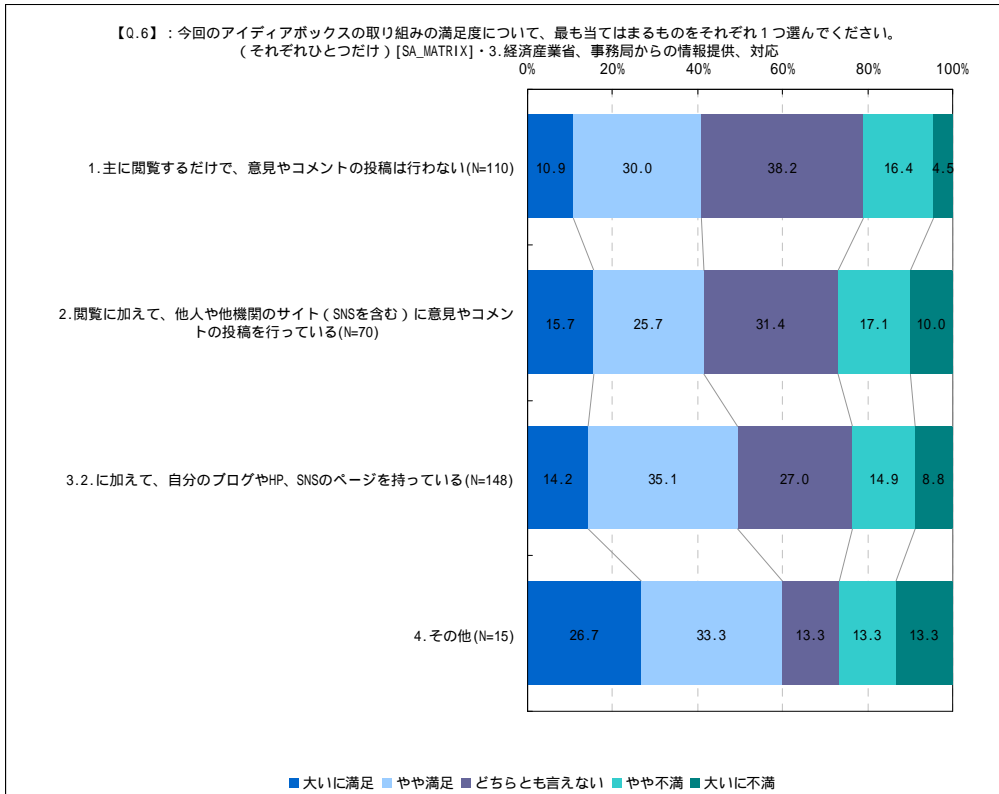


- 普段インターネットを閲覧するのみで意見やコメントの投稿は行わない人も、今回のアイデアボックスでは、31.0%がコメントを1回以上投稿し、また29.0%がアイデアを1回以上投稿した。

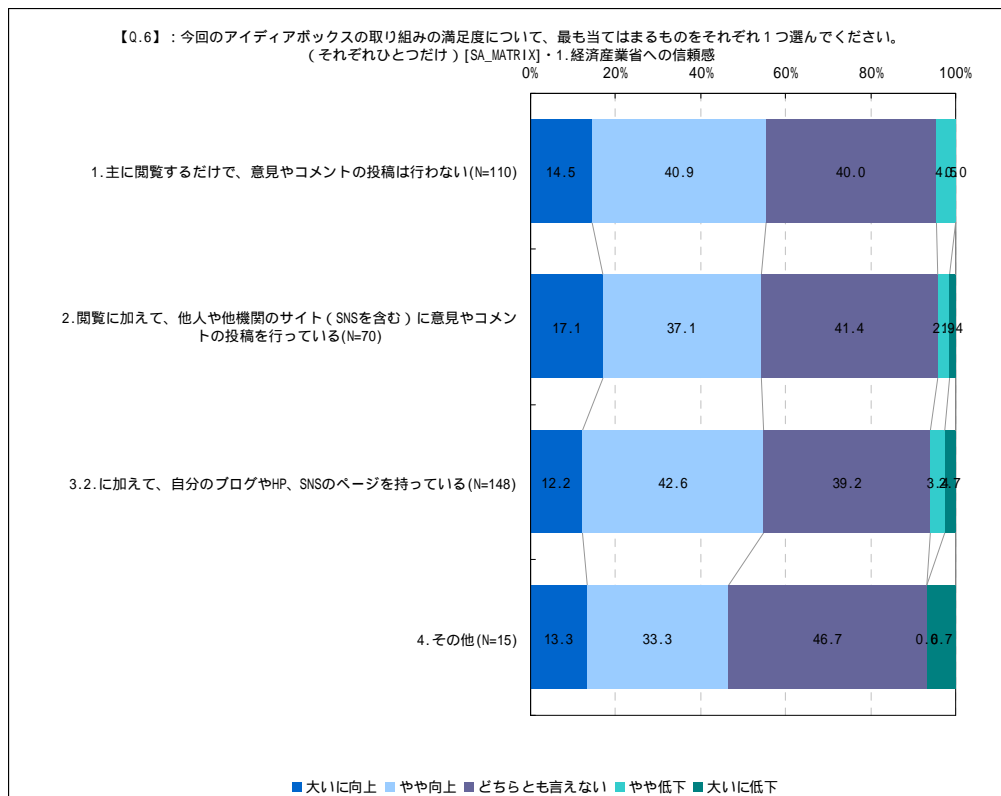


- 満足度の結果は次のようになっている。

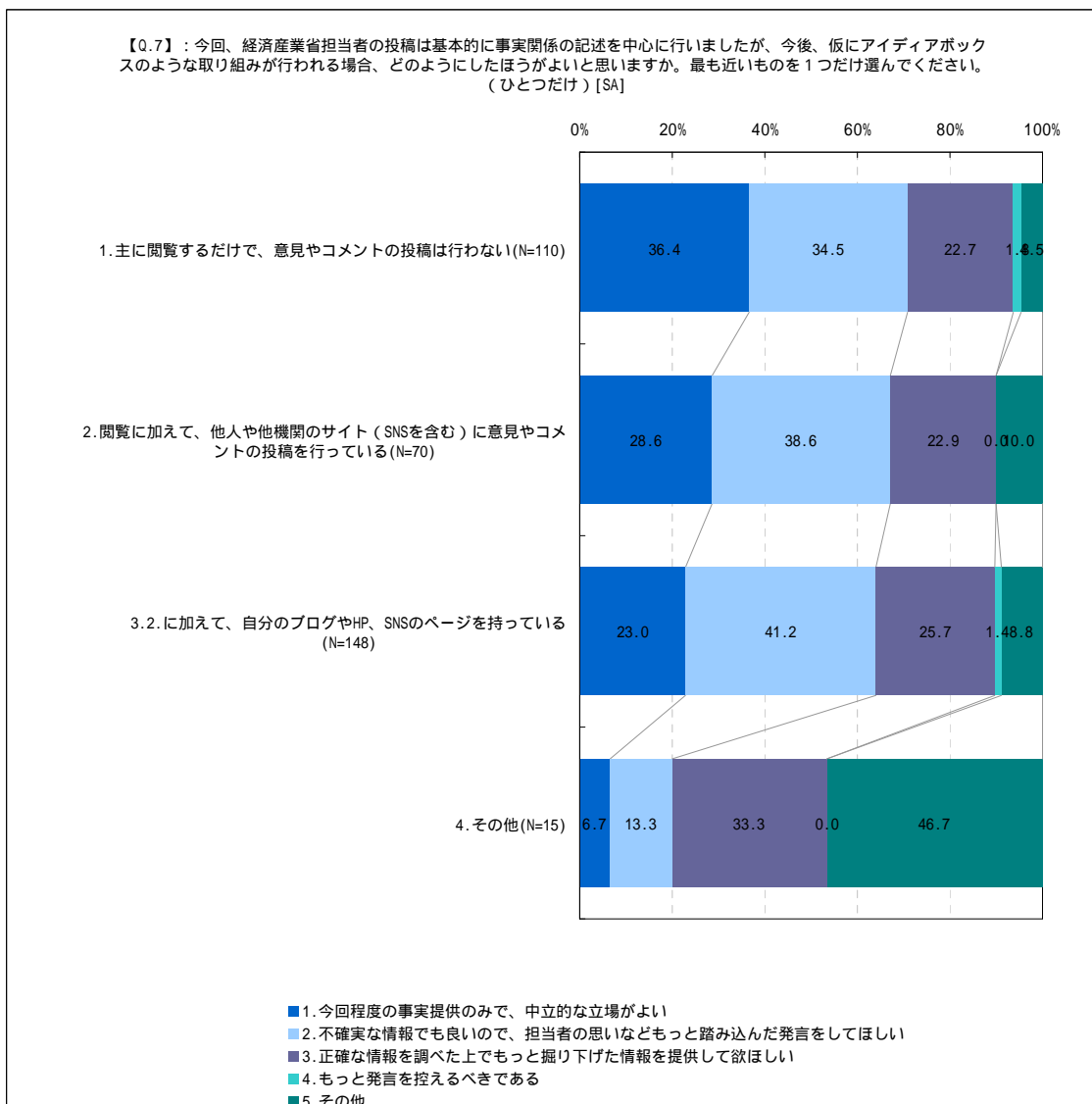




- ・ 経済産業省への信頼感については、普段のインターネットの利用状況別には大きな差は見られない。

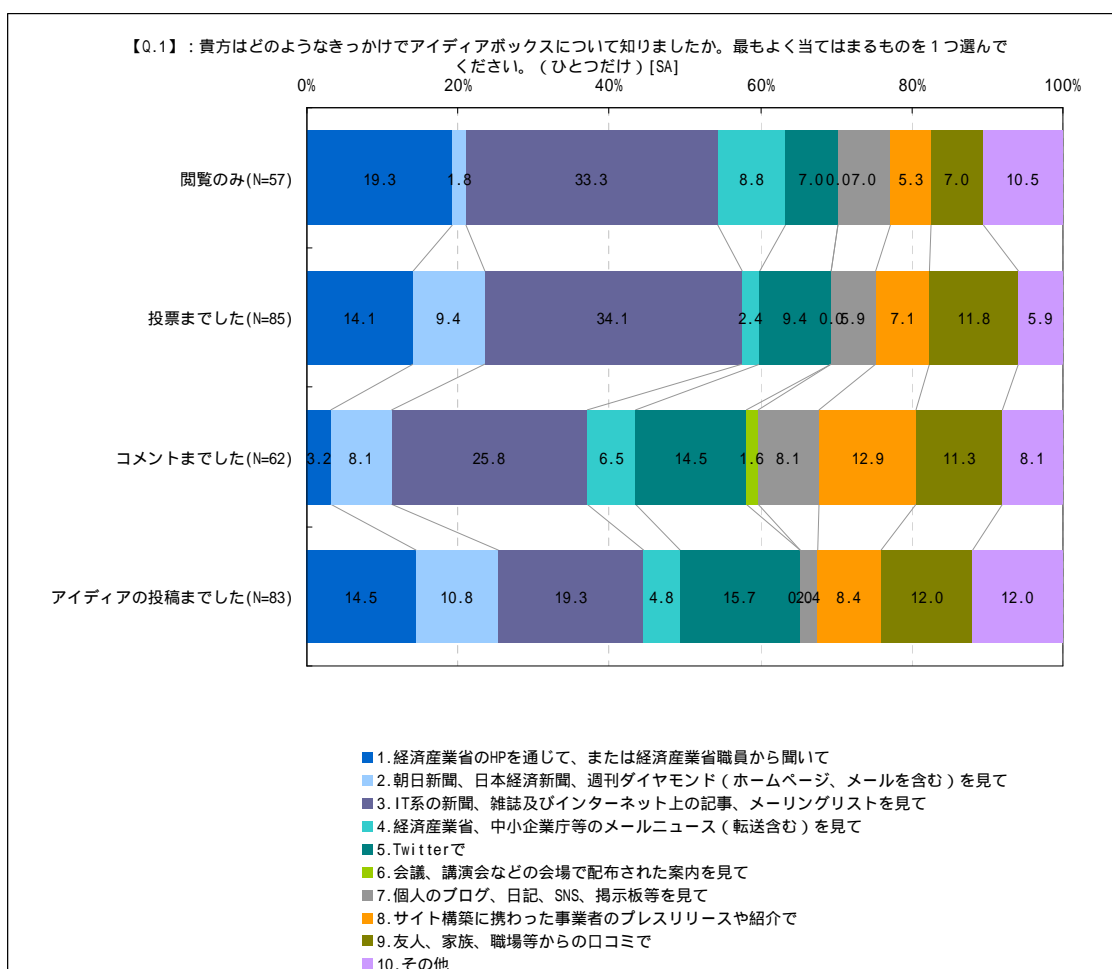


- 経済産業省の投稿についての考え方として、自分のブログや HP 等を持っている人では、他の属性の人に比べて、「1.今回程度的事实提供のみで、中立的な立場がよい」が少なく、「2.不確実な情報でも良いので、担当者の思いなどもっと踏み込んだ発言をしてほしい」が多い。

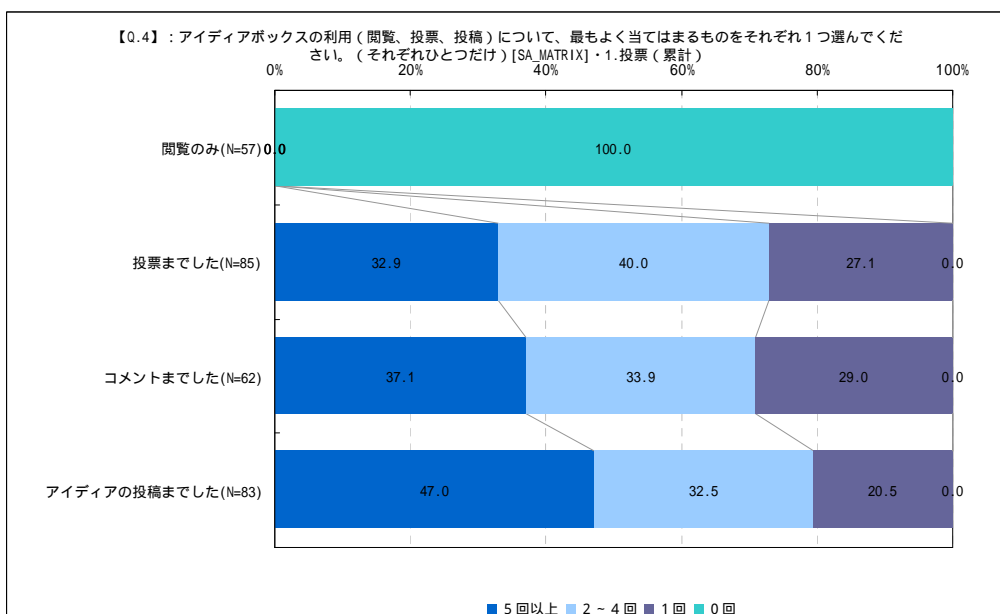
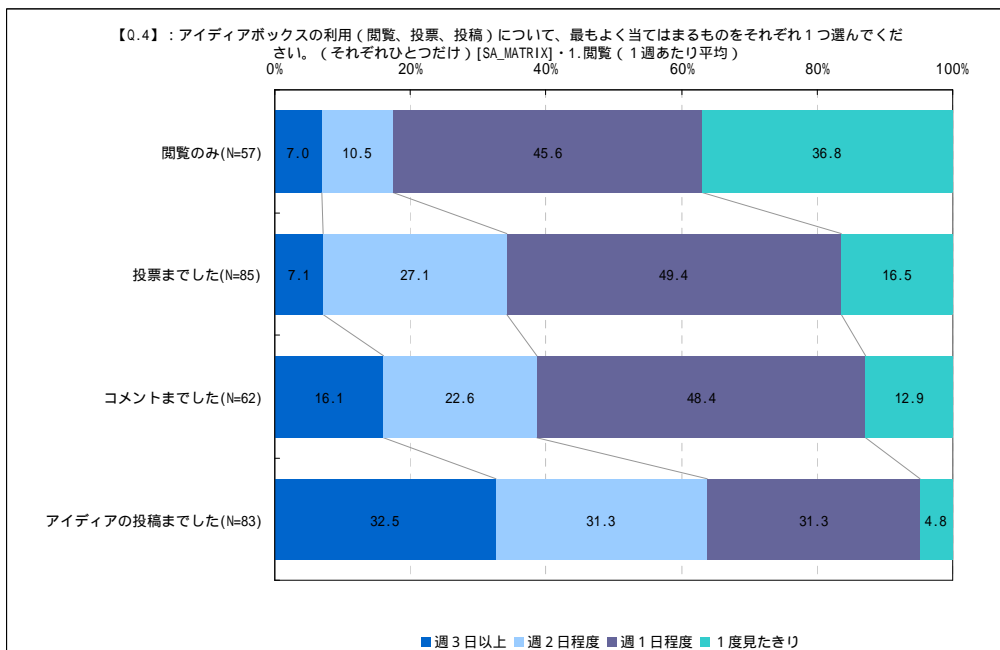


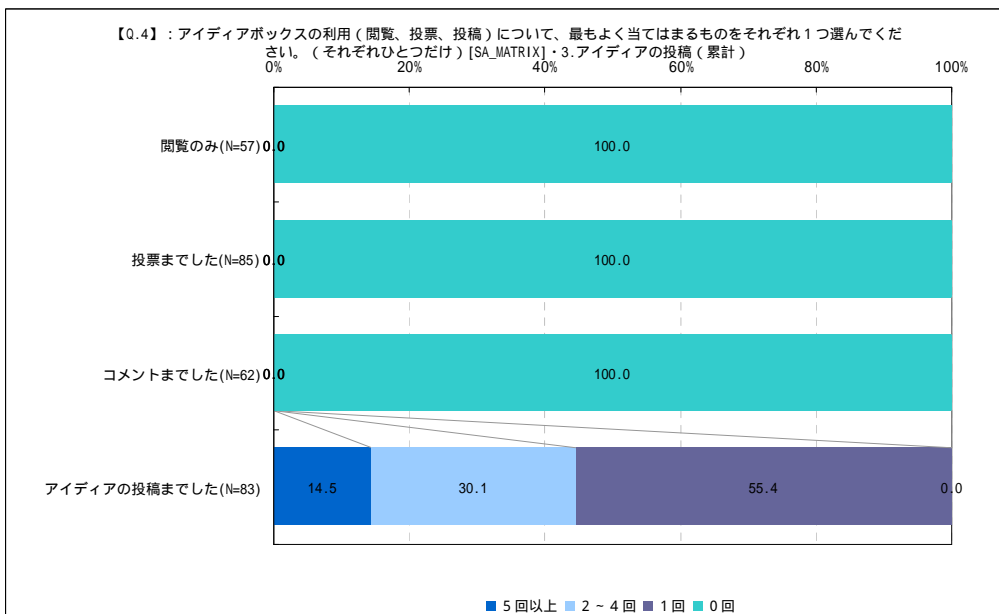
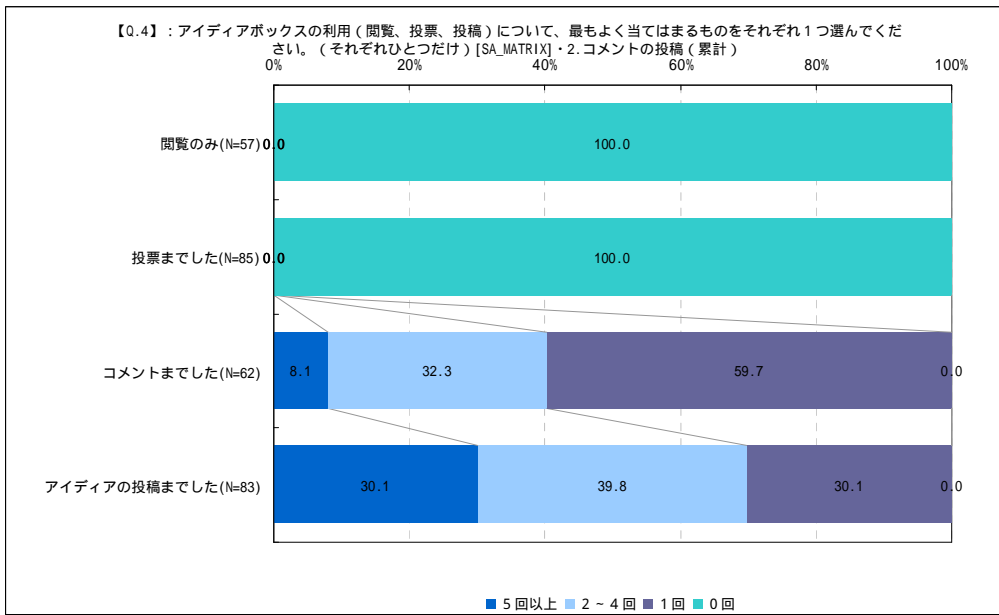
## 2) アイディアボックスの利用状況別結果

- 以下は「【Q.4】: アイディアボックスの利用（閲覧、投票、投稿）について、最もよく当てはまるものをそれぞれ1つ選んでください。」への回答別に、回答者を4つに分類視してクロス集計をしている。
- 4分類とは、「閲覧のみの人」、「投票までした人（閲覧+投票）」、「コメントまでした人（投票+コメント）」、「アイディアの投稿までした人（閲覧+投票+コメント+アイディア投稿）」である。
- 全般的に今回の取り組みを知ったきっかけはIT系の新聞・雑誌、ネット上の記事が多いが、コメントまでした人と、アイディアの投稿までした人では、上記の媒体に次いで、Twitterで知ったという人が2番目に多かった（約15%）。



- アイデアボックスへの閲覧、投票、投稿の頻度は次のようになっている。

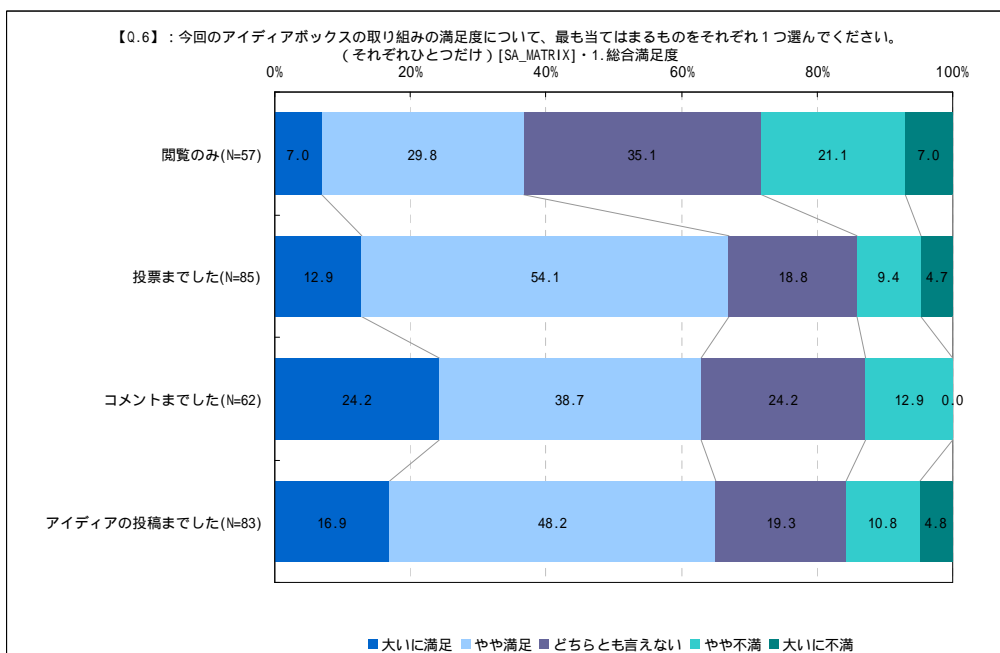


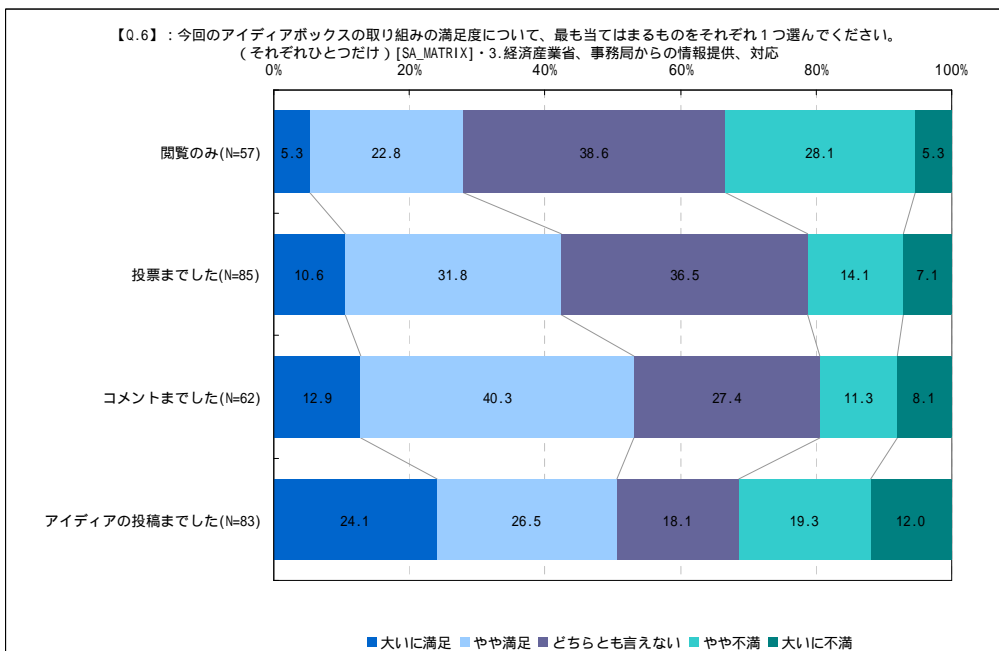
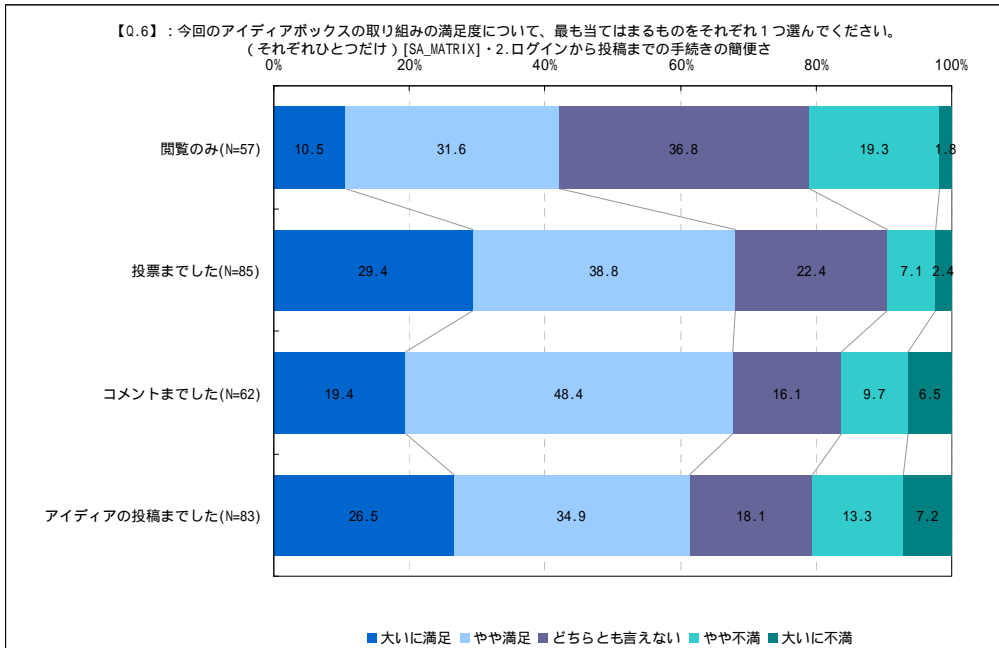


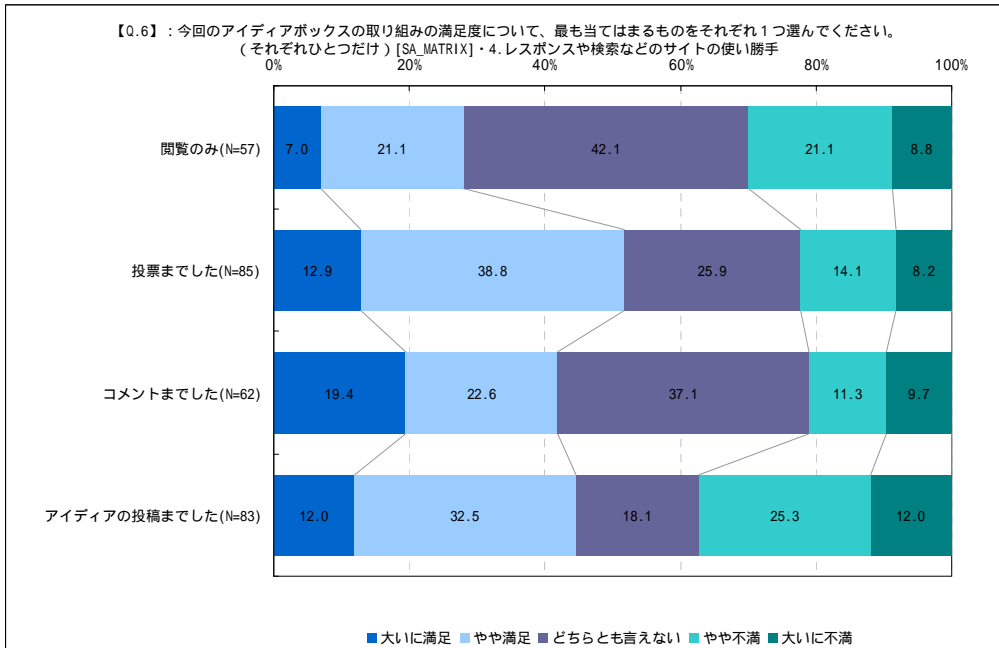
- アイディアボックスに興味をもった理由、インセンティブについて、閲覧のみの人では「知的好奇心から」(57.9%)が多いのに対して、コメントまでした人やアイディアの投稿までした人の約4割が「投稿や投票した内容が政策として実施される可能性があるから」と回答している。

	1. 投稿や投票した内容が政策として実施される可能性	2. 行政の活動(検討過程等)に参加してみたかった	3. 電子政府について日頃から意見を言いたかったか	4. 行政機関に日頃から意見を言いたかったか	5. 知的好奇心から	6. 上司若しくは会社の指示があったから	7. 知人や同僚の話題についていきかけたから	8. その他
閲覧のみ(N=57)	22.8	24.6	17.5	12.3	57.9	5.3	1.8	10.5
投票までした(N=85)	56.5	44.7	21.2	15.3	34.1	2.4	0.0	8.2
コメントまでした(N=62)	40.3	35.5	27.4	21.0	33.9	0.0	3.2	12.9
アイディアの投稿までした(N=83)	42.2	33.7	33.7	26.5	15.7	1.2	1.2	19.3

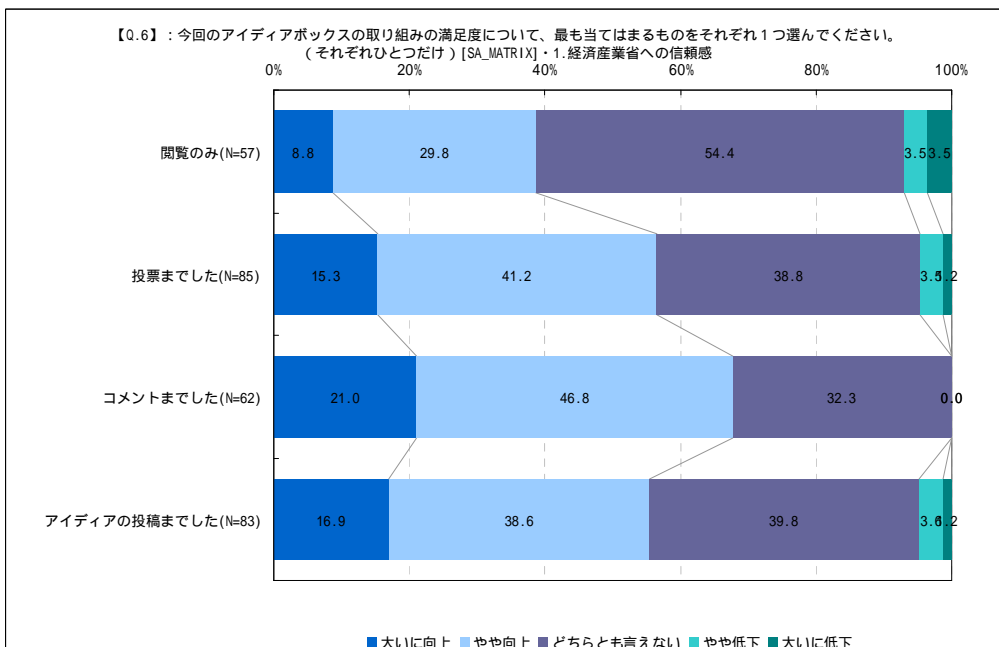
- 満足度の結果は次のようになっている。



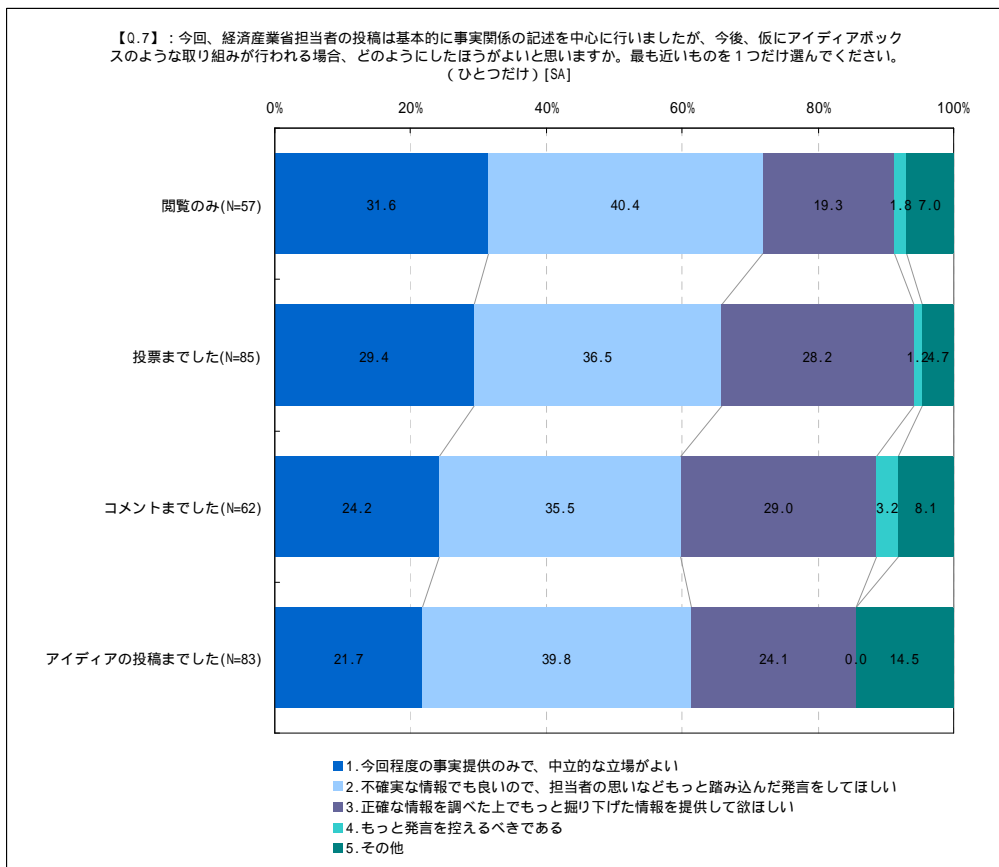




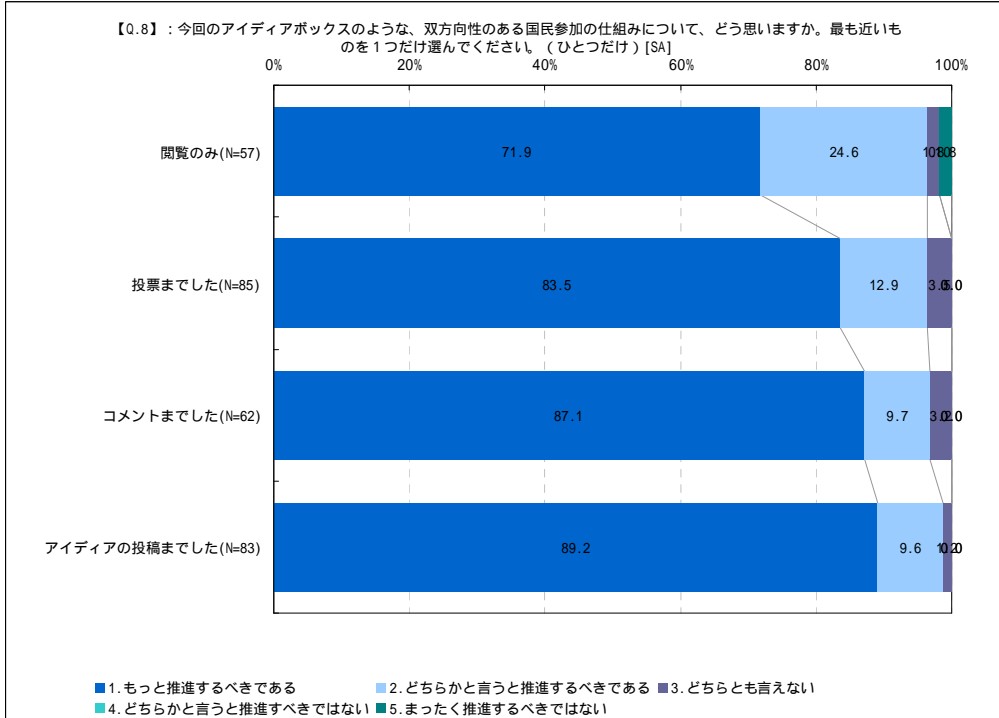
- 経済産業省への信頼感について、「大いに向上」、「やや向上」との回答は、閲覧のみの人で 38.6 %、投票までした人で 56.5%、コメントまでした人で 67.8%、アイデアの投稿までした人で 55.5%であった。



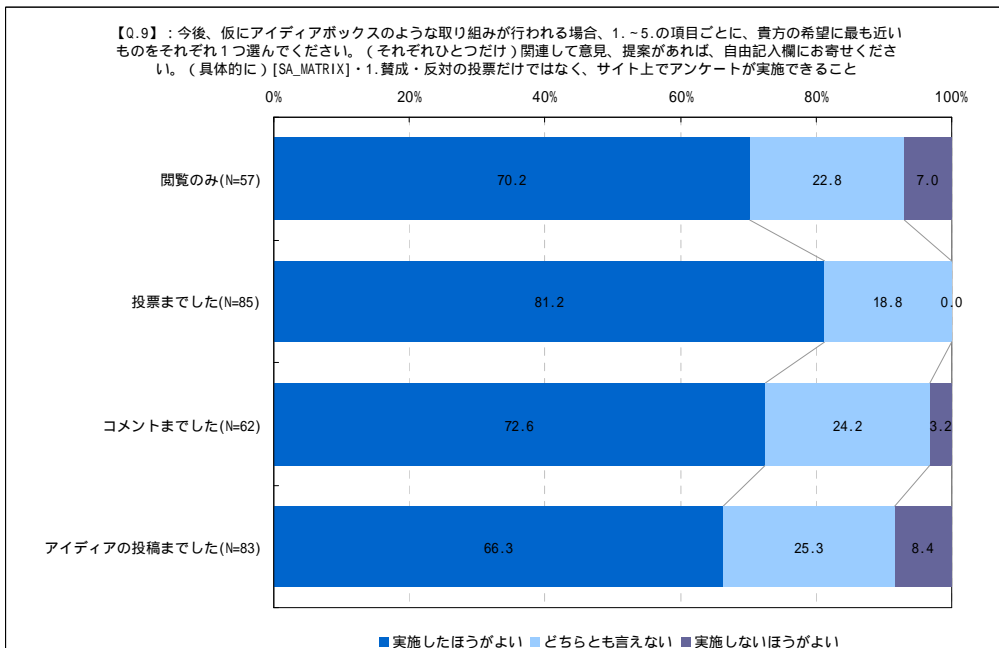
- ・ 経済産業省の投稿についての考え方については、次のようになっている。



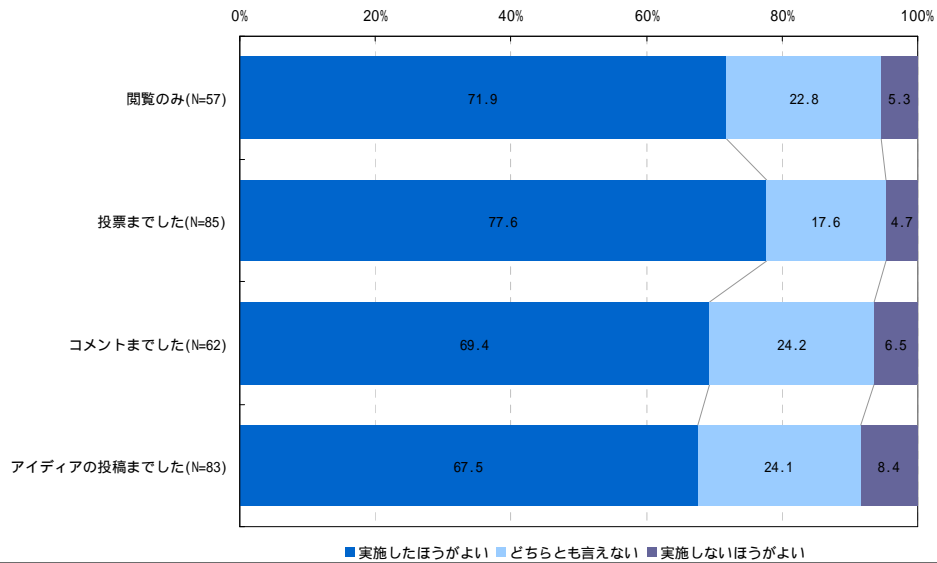
- ・ 閲覧のみであった人も双方向性のある国民参加の仕組みについては肯定的に考えている人が多い。



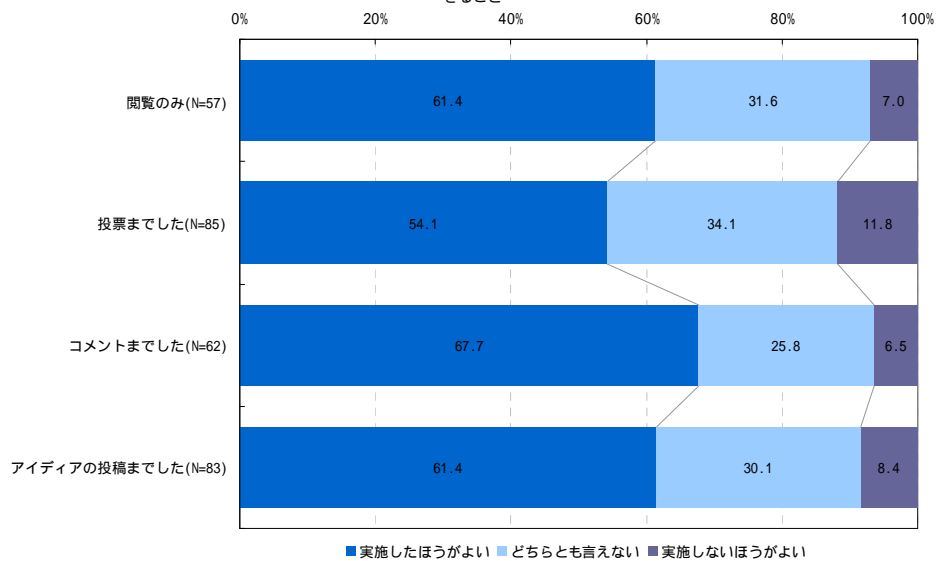
- ・ 今後求める機能や取り組みについては、次のようになっている。



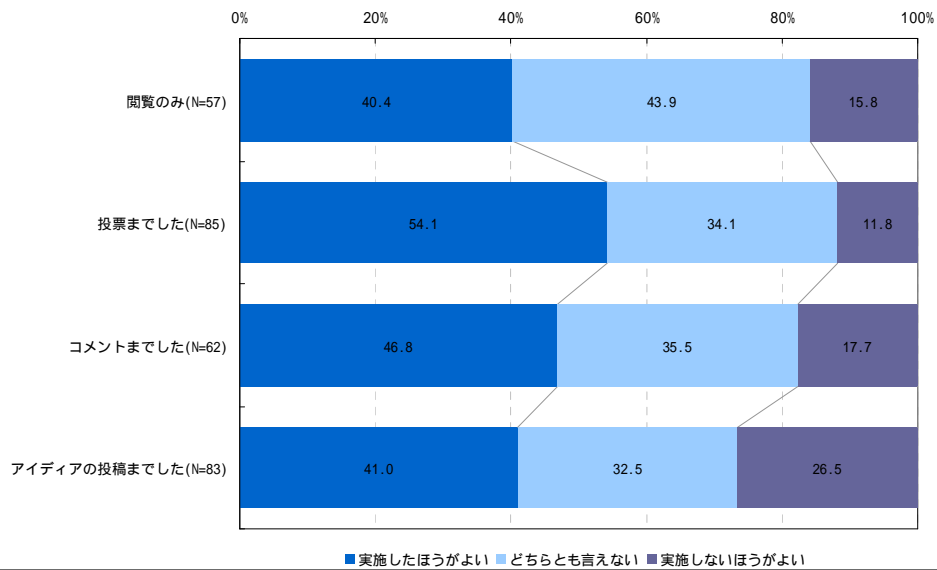
【0.9】：今後、仮にアイデアボックスのような取り組みが行われる場合、1.～5.の項目ごとに、貴方の希望に最も近いものをそれぞれ1つ選んでください。（それぞれひとつだけ）関連して意見、提案があれば、自由記入欄にお寄せください。（具体的に）[SA\_MATRIX]・2. 話題に基づいている政策や事業のコスト等についてシミュレーションできること



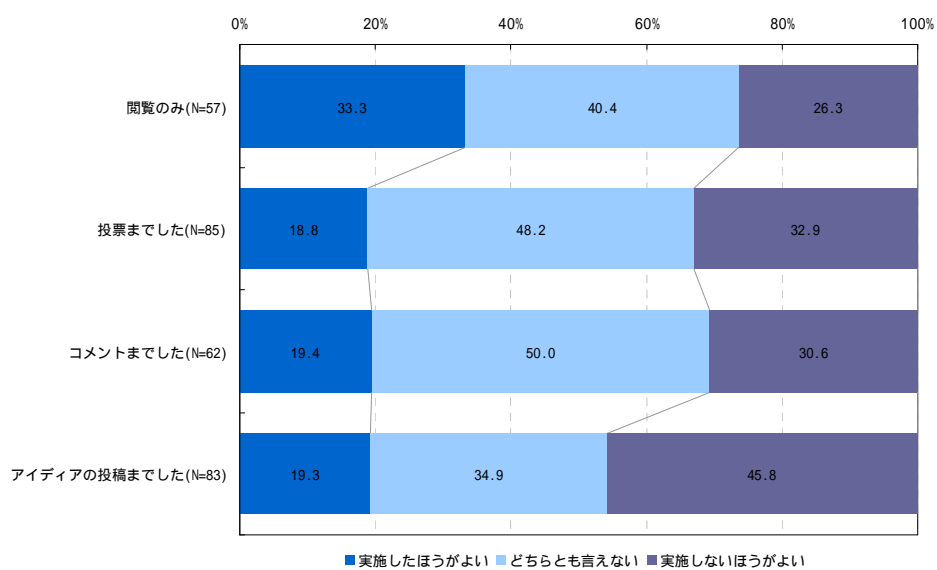
【0.9】：今後、仮にアイデアボックスのような取り組みが行われる場合、1.～5.の項目ごとに、貴方の希望に最も近いものをそれぞれ1つ選んでください。（それぞれひとつだけ）関連して意見、提案があれば、自由記入欄にお寄せください。（具体的に）[SA\_MATRIX]・3. サイト上で集まった意見、提案についてオンサイト（対面）で公開討論や意見交換ができること



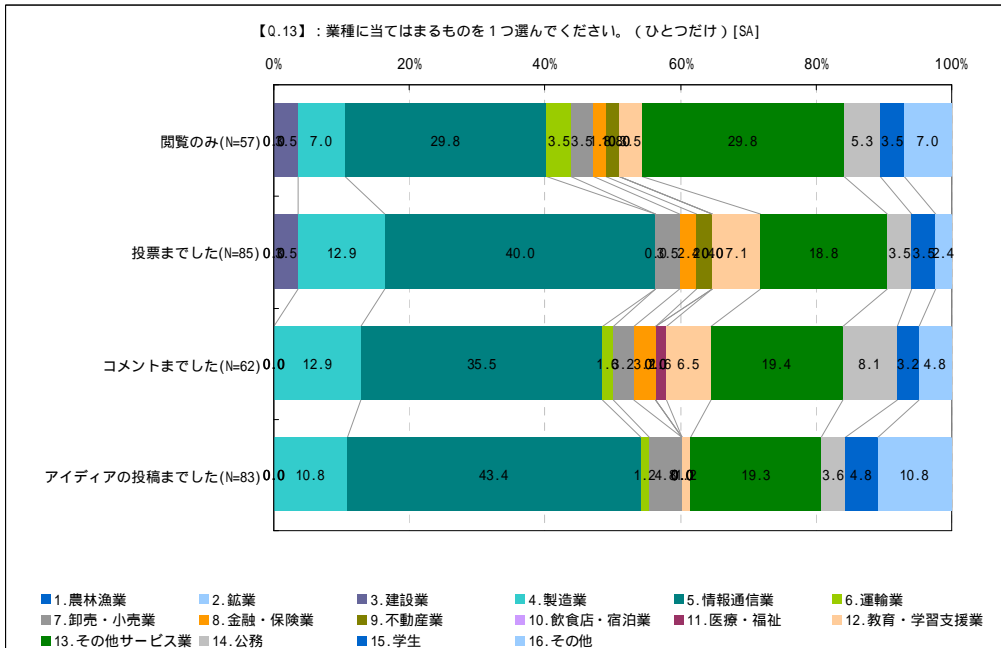
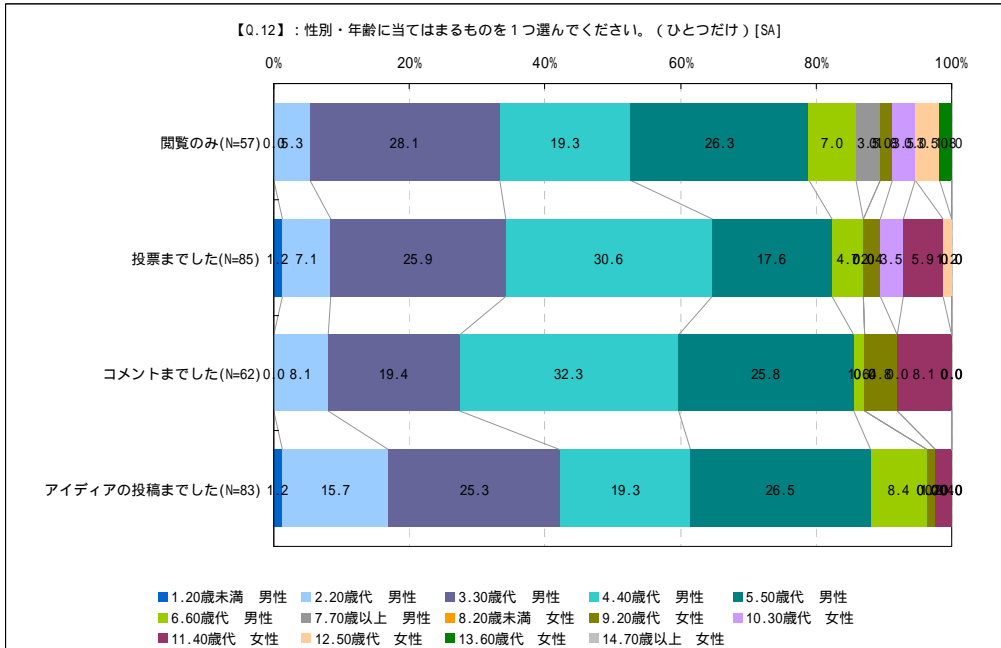
【0.9】：今後、仮にアイデアボックスのような取り組みが行われる場合、1.～5.の項目ごとに、貴方の希望に最も近いものをそれぞれ1つ選んでください。（それぞれひとつだけ）関連して意見、提案があれば、自由記入欄にお寄せください。（具体的に）[SA\_MATRIX]・4.不適切な投稿がないか24時間体制で監視すること



【0.9】：今後、仮にアイデアボックスのような取り組みが行われる場合、1.～5.の項目ごとに、貴方の希望に最も近いものをそれぞれ1つ選んでください。（それぞれひとつだけ）関連して意見、提案があれば、自由記入欄にお寄せください。（具体的に）[SA\_MATRIX]・5.責任をもった投稿となるために実名でしか投稿できないようにすること



- 回答者の属性は次のようになっている。



【0.15】：今回のアイデアボックス以外の場面で、貴方はインターネットをどのように活用していますか。（ひとつだけ）[SA]

